

中岳



新執行部スタート

H22年度 社団法人 熊本市歯科医師会通常総会

H23年度 社団法人 熊本市歯科医師会臨時代議員会



熊本市歯科医師会会誌

第153号

目 次

巻頭言	清村正弥 会長	1
新執行部紹介		2
平成22年度 社団法人熊本市歯科医師会 通常総会		6
平成22年度 社団法人熊本市歯科医師会 代議員会		11
平成23年度 社団法人熊本市歯科医師会 臨時代議員会		14
医療管理委員会セミナー「事業資金の借り方・返し方」		15
第56回医歯連携セミナー（熊本有病者歯科医療研究会講演会）		16
『正しい知識を知って、無駄のない保険請求を』		18
平成22年度第2回国立病院機構熊本医療センター開放型病院連絡会		19
合同委員会		21
平成22年度第2回熊本市歯科救急医療協議会 及び伊東歯科口腔病院との開放型病院連絡協議会		22
スタディー		
「咬合調整と補綴処置により下顎位を修正した1症例」		
	新外レッツ歯科 山口 英司	27
委員会紹介		30
新入会員紹介		40
スポーツの広場		44
会務報告		45
編集後記		

表紙のことば

GW明けの晴天の日、高森町色見から砂千里ヶ浜を經由し阿蘇中岳・高岳登山に行きました。中岳周辺に草木はなく活火山であることを思い知らされました。中岳からやや多めの噴煙を出す火口を一枚。

それもそのはず、翌日より火口周辺立ち入り禁止になりました。

(小野秀樹)

巻頭言

「ゴリラと象」

今期の2年間余り、再度会長として汗を流すことになりました。どうぞよろしくお願いいたします。今期は、公益法人改革対応の仕上げと、平成24年4月の医療保険と介護保険の同時改定への対応など、重要な仕事が控えています。

歯科は、たくさん問題点を抱えています。仕事の内容の細かさ、歯科医療費の小ささが相まって、問題解決への対応が自ずと細く小さいものになりがちです。これまでなされてきた対応を顧みても、根本のあり方を変革するような議論はなされず、あちこちに開いた穴をどうやって塞ぐのか、そのことにばかり心血が注がれてきたように思えます。今、私たちの歯科界が存在する空間が良いものなら、その空間を壊さずに、従来の形を何とか保つための対応は有効でしょう。しかし、その空間のあり方そのものが良くないのであれば、空間そのものを変化させることを考えなければなりません。

みなさんは、「見えないゴリラ」をご存じでしょうか。これは米・イリノイ大のダニエル・シモンズ教授（心理学）が1999年に発表したもので、細部への注視を伴う課題を与えられると、全体に対しては、「見えども見えず」状態に陥り、普段であれば直ぐに指摘可能な大きな異常の存在に、人は気付かなくなることを示しています。是非、次のサイトで実際の画面をご覧になってみてください。

<http://www.simonslab.com/videos.html>

また、「部屋の中の象」という寓話もあります。部屋の中に大きな象がいます。これは異常事態です。部屋には人がたくさんいて、全員、象に気付いています。でも、誰も象を外に追い出そうとはしません。皆、見えないふりをしているのです。あるいは、追い出すのは自分ではなく、他の誰かの仕事だ、と考えているのかもしれません。そして、そのうちに皆、慣れてしまい、今では部屋の中に象がいても誰も驚かなくなっています。

私たち歯科医師会の会員は、皆、一生懸命に自分に課せられたそれぞれの仕事をこなしています。歯科とそれを取り巻く社会の何が問題なのか、そのことにも皆、気付いています。が、私たちは仕事に没頭するうちに、目の前を横切るゴリラに気付かなかったり、すぐ横に邪魔で危険な象がいるのに放置していたりしていないでしょうか。

3月11日に東日本を襲った三重苦の国難は、未曾有の天災が直接の原因ですが、津波の被害を大きくしてしまったことと、終息への道筋が見えない原発事故については、ゴリラを見落とし象を外に追い出すことをサボってしまった一面があるように思えます。マスコミでは見落とししたりサボったりした「犯人捜し」が盛んに行われていますが、根源的な部分では、私たち歯科界の人間を含めて、この国全体に共通する心的状態があるように思えて仕方ありません。

私たちは、歯科界にゴリラが入り込めば、すぐに気付かなければなりませんし、象が私たちの部屋を占拠しているなら、直ぐに外に出すようにしなければいけません。それらは会長の仕事であり、歯科医師会の仕事であり、そして会員全員に課せられた仕事でもあります。



清村正弥会長

新しい執行部を紹介します



藤波好文 副会長

引き続き副会長の要職を務めさせて頂くことになりました。会員も団塊世代以上の比率が増してきており、その中の1人として残れとの事だと思います。今期は一般社団法人化への移行の仕があります。また、高齢化による終身会員の増加で、会費収入の対策、検討が必要になります。習わしにとらわれない、会務内容のスクラップも考える時機にきております。

私たちの仕事は、生きるために噛んで食べること、また、美味しいと思うことで生きがいをつまみだす助けをすることも大きな役割であり、歯と口腔の大切さを地域の人に更に認識して頂き、歯科の需要を広げねばなりません。高校受験の年に、ジョン・F・ケネディは暗殺されましたが、有名な大統領就任演説に『ask, not what your country can do for you. ask what you can do for your country.』（国があなたに何をしてくれるのではなく、私たちがともに何をできるか、問うて下さい）。右肩下がりの今、会員の先生方ともに頑張っていきますので、宜しくお願い致します。



稲葉逸郎 副会長

今期も副会長の任を拝命され、改めて重責を担うことになりました。この2年間、法人改革及び会費、入会金の検討など「カタチ」にしなければいけないことは、たくさんあります。3月の東北沖大震災の時、ACジャパンの広告CMが毎日流されました。その中で「こころ」はだれにも見えないけれど「心づかい」は見える、「思い」は見えないけれど「思いやり」はだれにでも見えるという高校生の男の子が年配のおばあさんに手をさしのべるというCMがありました。宮澤章二さんの「行為の意味」という詩に込められた「その気持ちをカタチに」というメッセージが心に残りました。

歯科医師会も患者さんや会員の皆様の気持をカタチにすることが役目だと思います。皆様の協力と支援をよろしくお願い致します。



渡辺 猛士 専務理事

本年4月より清村会長のもと、前期に引き続き専務理事を担当することになりました渡辺です。

2期目となり、一通りのイベントを消化したことで今期はもう少しましな会務運営をすることが出来るのではないかと考えておりますが、何しろ能力一杯一杯ですので辺りを見回す余裕などはありません。是非とも皆様方のご指導ご鞭撻を仰ぎたいと考えておりますのでなにとぞよろしくお願いいたします。



蔵田 幸一 常務理事

清村執行部2期目となりますが、今般会計担当常務を引き続き拝命しました。今期は、公益法人改革の仕上げの時だと思っております。本会は会務検討臨時委員会の答申を受けて、一般社団法人への移行に向けて準備を整えている所です。新定款につきましては、昨期定款検討臨時委員会で協議を重ねて頂き、ほぼできあがりました。その他諸規則の見直しを行っており、事業仕分けも行っている所です。今期中に一般社団法人へ移行できるよう努力致します。

又、これに限らず、会計全般にわたって改善すべき点は改善して参りたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。



古川 猛士 常務理事

常務理事として2期目になりますが、前期は公益法人改革（改悪？）に振り回された2年間でした。今期は日菌、県菌の動きを見ながらの対応となります。これから先法律がどう変わるかわかりませんが、後顧の憂いとならぬよう頑張って努めていきたいと思っております。



瀬井 知己 厚生理事

このたび中川順一先生の後を受けて厚生委員会の理事を拝命いたしました。厚生委員会の仕事は、今年で15年目になります。会員の先生方の福利厚生のため、微力ながら頑張りますので、何卒よろしくお願いいたします。



田中弥興 広報理事

今回、広報担当理事2期目を務めさせて頂くことになりました。

振り返ってみますと、前期は何もわからず、なんとか会務をこなしていたように思います。今期は、中岳やかかわら版の内容を検討して、会員の皆様に投稿を頂き、多彩な内容にしていきたいと思います。また、対外広報誌もその時々話題に合わせ、一般の方々にわかりやすい内容の物を作製していこうと思います。どうぞご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。



齊藤忠継 地域保健理事

今期、2期目の地域保健委員会理事を仰せつかりました齊藤です。役員任期が2年になったせいで、この間理事になったと思っていたらもう2期目がやって来てしまい、少し戸惑ってます。

今振り返ると、この2年間で自分は何が出来たのだろうか？他の執行部のみなさんに御迷惑をおかけしなかったのだろうか？と反省の日々です。

地域保健委員会は、行政と関わる機会が非常に多く、いわば歯科医師会の対外的な「顔」の様な役割を多少なりと行っています。それ故、時には毅然とした態度で折衝に当たらなければなりません、それが執行部、取り分け会長に御迷惑をおかけする事になるのではないかと思います、多少腰が引ける事もあるのも事実です。

しかし、我々理事は常に会員益を考えて執務を行って行くべきでしょうから、今期はもう一度そこに立ち返り、何が良いのか、どうすれば会員益になるのかをしっかりと見極めて理事職を行って行く所存ですので、皆様どうかよろしくお願いいたします。



渡辺洋 社保理事

前期に引き続きまして社保を担当することになりました渡辺です。社会情勢や我々を取り巻く環境は日を増すごとに厳しさを増しています。もうこの話は聞き飽きてきました。点数改正においても際立つアップは予想しがたく、極わずかな上昇も査定や返戻など差引どの程度でしょうか。この2年間にむけてせめてわずかな上昇分の取もれを少しでも無くしていくことを今期の活動の主軸の一つとして頑張っていこうと考えております。懸案となっております個別指導対策も大きな柱の一つとして変わりなく対応を進めてゆくつもりです。ご質問やその他社保関係のお尋ねは随時お受けいたします。今後ともよろしくお願いいたします。



井手裕二 学校歯科理事

前回に引き続き3期目、学校歯科担当をいたします井手裕二です。

学校歯科委員会の主な活動として6月と11月の「歯磨き巡回指導」がありますが、その指導は、4巡目となる小学校もあります。

今回、この「歯磨き巡回指導」で熊本市歯科医師会が平成23年度熊本市学校保健功労者表彰を受賞することになりました。これも諸先輩方がはじめた事業を引継ぎ今日まで行った結果だと思っています。

熊本市はご存知のとおり政令都市となり、小学校数は、植木町の8校、城南町の3校が加わり92校（プラス1校分校）とかなり広範囲となります。

ほとんどの小学校において、給食後のお昼休みに歯磨きをするのに対して、中学校は実施していないのが現状です。

熊本県は昨年「熊本県歯及び口腔の健康づくり推進条例」が施行されました。

現時点（H23.3.25）での、1歳6ヶ月児のむし歯有病率は熊本県が残念ながら最下位です。このことより歯磨き、フッ化物洗口などの予防効果の高い取組みについて支援を行わなければならないと思っています。

平成19年4月に「熊本市乳幼児等医療費助成制度（ひまわりカード）」が小学校就学前までだったのが、平成23年10月より「熊本市子ども医療費助成制度」と名称が変わり小学校3年生まで対象年齢が拡大したことは喜ばしいことです。いずれ小学校6年生までなればと思っています。

また、平成24年11月に熊本市で全国学校保健研究大会がありますので、ご協力のほどよろしくお願い致します。



小野秀樹 学術理事

前期に引き続き学術委員会理事を拝命致しました小野です。

日常臨床のためとなる、タイムリーな講演会の企画や、情報を発信したいと思います。聞きたい講演会等の希望があればお教えください、実現出来るよう努力致します。微力ではありますが全力を尽くし会務にあたりたいと思いますので、よろしくお願い致します。



宮本格尚 医療管理理事

2期目の医療管理委員会理事を拝命いたしました宮本格尚です。

時代とともに、当委員会の仕事内容も多様化して来ています。厳しい時代の中、会員に少しでもプラスになる企画や情報を迅速に提供して行きたいと思っております。

また、医療相談の方では年々増加傾向を見せる医療苦情・相談を円満に解決すべく、微力ながら会員のために頑張らせていただきますので、合わせてよろしくお願い致します。



合澤康生 監事

監事に従事して2期目になりますが市歯科医師会監査規則の中で監査の目的は本会の財産の状況並びに運営管理全般について行い、その実体を正確に把握しこれを検討評価し運営の合理化及び会務の能率増進に資するとともに不正過誤を防止することを目的とする。とあり、監事は事実の認定処理の判断及び意見の表明を行うに当たって常に公正不偏の態度を保持しなければならない。と明記してあります。少しでもこの精神に近づく様、頑張りたいと思います。



與儀実彦 監事

東日本大震災が発生し、数年は日本の景気も低迷すると思われます。

歯科界も低迷を続けて長年になり、この打開策も色々考えられていますが、なかなか特効薬はありません。

しかし、元気だけではなくしてはならないと思います。

熊本市歯科医師会監事として、業務を遂行すると共に元気を会員に与えていければと思っております。

がんばろう 日本！

がんばろう 歯科医師！

先を見据えた本会の在り方は！

—— 平成22年度 社団法人熊本市歯科医師会 通常総会 ——



3月3日（木）午後7時30分より県歯会館3階市会議室にて平成22年度社団法人熊本市歯科医師会通常総会が開催された。

1. 開会

古川猛士常務理事

2. 議長及び副議長選出

議長 矢毛石豊先生

副議長 片山晃紀先生

3. 議事録署名人

関 剛一先生 岡本寛先生

4. 物故会員に対する黙祷

添島義和先生（中央） 鶴田実馬先生（東部4）

下村敏朗先生（南部）

5. 会長挨拶

清村正弥会長

皆様こんばんは。

全ては流転する、または仏教の世界では色即是空論と言う、ひとつの形をずっととどめるものは何もないということがよく言われます。私もこの執行部をあずかりましてやがて2年が経とうとしています。2年前と今を思い返してみますとやはりずいぶん変わったところが出て

きています。会長になったところは古賀前会長から引き継いだものを、そのままやっていけば良いのかなと思っていましたが、やはり毎月新しい問題が次々に出てきます。思い返してみると本当にひとつの形の定まったものをこれだけやれば良いということではなかなかうまくいかなかったことが分りました。それは、多分今後とも一緒に誰が会長をやっても同じことだろうと思います。けれども、そんな中でも少しでも先を見据えて展望を開きながら会の進んでいく方向を誤らないようにして引っ張っていくのが会長の責務であり、執行部、監事の先生方の役目ではないかと思います。また、それではいかんぞと会員の先生方に申告していただくのは代議員会、総会または支部会の席ではないでしょうか。いろんな席上でいろんな質問をされたりしますが、そんな中でもすぐに変えられるものは対応してきたつもりです。しかし、代議員会での質問でもありました会員数がなかなか増えない、あるいは患者さんが増えない、学院の生徒さんが増えないといったことは実はよく考えますと根がひとつの所に繋がっているのではないかと思います。それが何かと言いますと少子

高齢化の少子のところが効いてきているのではないかと思います。去年の7月にベストセラーになりました新書『デフレの正体』の中に日本人の人口の減少がどのようになっているのかがつぶさに検証されていて、マスコミによく言われていることが本当か嘘かなどの細かいところがよく書かれています。その中で一番ショックだったのが、みんなが日本の中で一番貧しいのではないかとと思っているだろう沖縄県が実は相当豊かで、だからこそ人口も増えてきているということが数字の検証をもって書かれていました。また先週国勢調査の速報値が発表されましたが、九州内で人口が増えてきているのは福岡県と沖縄県だけで、今後減少傾向はますます加速していくのではないかと思います。ただ、人口が減るだけならまだそういうものかと思われませんが、その片方にあります高齢化というものがもっと別な問題を投げかけてきて、少子化と高齢化と一口で言われますがそれぞれが別の所に作用して、その二つがお互いに作用してもっと強烈な影響が出てくるということが今後の問題ではないかと思います。歯科医師会とは無縁と思っていましたが、今日の資料にもでてます様に会員の動向というものを少し長めの10年間のスパンで見えていきますと、高齢化というものが露骨に影響が出てくるということがございます。

このような問題を如何にして解決していくかですが、問題が起きた時に解決すれば良いではないかと思っていますとその時は手遅れになるというのがこの手の問題の特徴ではないかと思えますので、10年先を見据えて今後執行部と会員の先生とで一緒になって考えていくことが大切であると私は考えています。本日は来年度予算案、事業案ともに承認していただくことはとても大事なことでありますが、ぜひ協議の部分では先を見据えた本会の在り方ということも一緒に考えていただけたらと思っています。少し長くなりましたが本日はどうぞよろしくお願いいたします。

6. 来賓挨拶 前野正春県歯副会長

7. 報告

- 1) 会務報告 渡辺猛士専務理事
- 2) 庶務報告 古川猛士常務理事
- 3) 会計現況報告 蔵田幸一常務理事
- 4) 監査報告 合澤康生監事

8. 代議員会審議経過報告

三笥 司代議員会委員長

9. 議事

- 第1号議案 平成23年度熊本市歯科医師会事業計画案の承認を求むる件
- 第2号議案 平成23年度熊本市歯科医師会一般会計予算案の承認を求むる件
- 第3号議案 平成23年度熊本市歯科医師会収益事業会計予算案の承認を求むる件
- 第4号議案 平成23年度熊本市歯科医師会退職積立金会計予算案の承認を求むる件
- 第5号議案 平成23年度熊本市歯科医師会慰金制度会計予算案の承認を求むる件
- 第6号議案 平成23年度熊本市歯科医師会会費および負担金の賦課徴収方法の承認を求むる件
- 第7号議案 借入金の限度額の承認を求むる件(案)
- 第8号議案 熊本市歯科医師会会長・監事選挙に関する件

第1号議案から第8号議案まで全て承認可決された。

無投票当選により、清村正弥会長、会沢康生幹事、与儀実彦幹事に斉藤修身選挙管理委員長より当選証書が渡された。

10. 協議

1) 公益法人改革への対応

イ. 新定款策定について

新定款におきましては、本年度定款検討委員会を設け、多数回検討いたしましてほぼ完成したものが出来上がっています。こ

れは一応、県庁の所轄の課のほうでお墨付きを貰っておりまして、これをそのまま出せるような形にはなっております。先達ての会員のみなさまへの説明会の折りにちょっと難解な部分等少し修正したほうが良いところがありましたので、その部分を煮詰めなおして最終段階に入っているところであります。新定款の内容につきましては旧定款とほぼ同じであります。ただ、新しい法律ができて新しく認可する法人にはこの条文とこの条文が無くてはいけないとか、こんなことは書いてはいけないとかいろいろありましたので、その辺だけをぎりぎり変えてあるだけでございます。ほぼ、新定款の最終案をそのまま出せると思います。

ロ. 移行認可に向けての進捗状況

現在新定款、公益事業の仕分け、公益目的支出計画もほぼ出来上がっています。後は提出だけという段階ではございますが、ここでひとつややこしい問題が絡んでまいりまして、これを申請いたしますと向こうの都合の良い時に認可するという返事がきます。返事がきましたらそこから2週間以内に登記しないといけません。ところが、本会が独自にこれを進めていきますと次年度に本会が登記して、県歯が再来年度に登記するという事に成りますと、県歯と市歯との間で事業年度のずれが起こってきます。これによって偶数年に市は選挙があって、奇数年に県が選挙があるといったような非常にちぐはぐな問題が起こってきます。これは避けなければなりませんので、様子を見ているところでございます。

ハ. 公益事業の仕分けについて

事業の中のどの部分が公益的なものでどの部分が自分たちのために使ったものなのかということで、これを経費別に分けて白黒をつける必要がございます。そういった作業を続けています。

今年度の分はまだ終わっていませんので、21年度分をモデルにして仕分けしてみまし

た。21年度には本会の事業は175種類ありまして、それを総務省のガイドラインに乗っ取って仕分けしますと23個の仕分けの仕方がありますが、その中で本会が該当するものが13個ありました。その175種類を13個に分けて、それをさらに大きく4つに分けていきます。その4つのうちの、公衆衛生の啓発事業、委託事業、医療技術及び保険診療精度向上事業の3つが公益目的事業というふうに捉えています。

二. 公益目的支出計画と入会金について

新しい法人に移行するためには、現在の財産を一時公益目的支出金ということで総額を全て公益目的支出計画に乗っ取って支出していくということが定められていますので、そのプランニングを進めています。入会金に関しては、これを下げたり無くしたりすると会務が滞ってしまいますので、それは考えておりません。その代わりに入会金を長期分割といった形にしたいと思っています。

2) 会員動向の変動による財政状況の推移及び今後の予測について

平成23年度は終身会員になる人数6名、終身会員数53名、一般会員数282名となっており、10年後の平成33年度にはそれぞれ11名、131名、206名になる予想ができています。平成33年度と23年度の終身会員数の差が78名程あり、このことは会費収入が390万円程度減収になることが予想されます。ただ、新入会員の先生が年間7名いればこれを埋め合わせることができます。しかし、終身会員の先生の収入割を無くす方向で考えていますので、診療をしている終身会員の先生の均等割りを少し高くすることで対応していきたいと思っています。結論としては、新入会員の先生が増えていくことが会費収入の安定には大切だと考えています。

3) 植木町、城南町両村合併に伴う会員所属移管について

町村合併よりまして、植木町・城南町両町が併合されることになりました。これにつきまし

て、鹿本郡市植木地区から12名、下益城郡城南町から5名の先生が本会に移管される事になっています。移管の時期は、本年度協議をいたしまして来年度4月1日を予定いたしております。また、移管後のこれらの先生方の権利につきましては、行政区分が変わって受動的に入会されるわけですので、今まで鹿本、もしくは下益城郡にいらっしゃった実績を考慮いたしまして、そのまま本会の一般会員としての権利を要したいと思っています。新しく入会金等は発生いたしません、その代わりに鹿本郡市、下益城郡の総財産のそれぞれ12名、5名分の財産を持参金として本会に持ってきていただくことになります。

4) 通所型介護予防事業改訂に対する対応について

現在、本会は通所型介護予防事業の事業所として登録しております。この事業につきましては、受け入れ1～3名では1回の介護予防事業の施術に3万2千円という行政からの手当がありました。ところが、次年度からそれを4千円に減額したいという話が来ております。これは事業としてやっていくには難しいのではないかと、ということで、事業所としての登録を抹消してはどうかと考えまして、実績のありました18の医院に対しましてアンケート調査を行いました。その回答のほとんどはそれではとても割に合わないで事業から手を引いた方が良いのではないかと、というものでした。しかし中には、今ボランティア精神を持って立ち向かっていくべきではないかという意見や、ここで介護事業から手を引くと歯科医師は介護事業にはいらないという行政の立場が確固たるものになるのではないかと、という心配があるので、とりあえずここは首をつないでおいの方が良いのではないかと、いう意見がありました。そこを考えまして、もう少し続けてはどうかと回答した5件の診療所がある地域だけを登録して、とりあえず首をつないでいくことになりました。ただ実際には金額はまだ流動的ではありますので、そこが決定してからまた各会員の先生方に確認したいと思いま

す。

5) その他

イ、医院の広告について

広告の規制に関して行政はあまり関係したくない様子でありますので、本会としては規制するのは難しいと考えています。会員の先生方は2月に厚労省から広告に関する事例集が出るので、それを3月に配布するのでそれに準じてやってほしい。また、医療人としての節度を持ってやってほしいと思います。

ロ、口腔ガン健診について

少し調べてみましたら口腔ガン健診を実施している歯科医師会がありました。関東近辺には実施の協議会というものがあり上がっていて、九州としては少し遅れているのですが、ただ2015年までにはそういったものを作れという厚労省の指針がありますので、このながれは全国に広がっていくものと思われます。面白いと思ったのは、東北大学は地元の歯科医師会と組みまして口腔ガンの診断研修を行っています。こういう流れであれば、本会も熊本大学と組んで、口腔ガン健診に特化して勉強会をしたうえで健診が行えるのではないのでしょうか。ただし、これには行政のバックアップが必ず必要ですので、するなら熊本市といっしょにやっていきたいと思います。先般行われました歯科保健推進協議会のなかでもこの話が出まして、口腔ガン健診につきましては篠原教授は何時でも協力するのでやるべきだとおっしゃっていました。篠原教授の退官前までに必ずやっていく事業だと思っています。熊本県の中で毎年130名程の口腔ガンの患者がいらっしゃるそうなので、熊本市では50～60名いるのではないのでしょうか。ですから十分にやる意味があるでしょう。

また、抗ガン剤療法が決まった患者さんへの口腔ケアがありまして、静岡県、千葉県ではすでに実施されておりますがそろそ

ろ熊本県でも必要になってくると思われます。それぞれの拠点病院の院内で口腔ケアがおこなわれていますが、これを地域まで広げて行くことが必要でしょう。通院で抗ガン剤療法をうけられている患者さんの口腔ケアを地域のわれわれの診療所でやっていただくようにしたいと思います。

ハ、北部2支部からの質問について

Q. 熊本市歯科医師会の入会金の設定は今後どうなるのですか？

A. 入会金に関しては、これを下げたり無くしたりすると会務が滞ってしまいますので、それは考えておりません。その代わりに入会金を長期分割といった形にしたいと思っています。

Q. 社会保険の保険請求指導について会員と非会員との差があってもいいのではないかと？

実際には殆ど差がなく指導がきつように感じるところがある。

もう少し改善されないだろうか？

A. 代議員会において資料をスライドにてお見せしまして、実は非会員と会員の扱いには違いがあることを説明しました。

Q. 今の技官の指導・再指導・再々指導は今後変わることはないのでしょうか？

A. 先日の県歯の代議員会でもこれに関する改善要請を行いました。早急の対応を要することですので今週末に行われます県歯の代議員会にもう一度話を持っていきたいと思っています。

Q. 歯科医師会は歯科診療所の増患対策として口腔ガン健診活動予定がありますか？

A. 口腔ガン健診につきましては熊本市にも今後直接働きかけていくようにいたしますし、県歯を通して日歯から厚労省にもそういった要望を出していくようにいたします。

二、中央支部からの質問について

Q. 歯科経営コンサルティング会社による企業健診の斡旋事業が始まるとのことですが、歯科医師会としての対応はいかがか？

A. 会社（マクロン）に直接問い合わせたところ、この会社がコンサルティング契約を結んでいる医院自身でそこに来院される患者さんに「おたくの会社では企業健診をしませんか」ということを言ってもらって、患者さんが「しますよ」となったら、やり方のシステムを提供するということでしたので、我々の方としてもいろいろ申し上げることもありませんし、自費ですので口出しするところでもありません。まず、心配の起こるような内容でもありませんでした。

Q. 衛生士学院は定員割れとのことでしたが、この点に関する考察はなされましたか？

A. この点に関しましては県歯が担当する分野でございますので、今週末に開催されます代議員会に話を持っていくようにいたします。しかし、就職率100%の衛生士学院が定員割れということは、歯科医院に豊富な手当を出す原資が無いということだろうと思いますので、医療崩壊が始まっているのではないかと、いう点から日歯を通して厚労省に話を進めていく方向に持っていきたいと思っています。

Q. Tooth Wear の増加を臨床上痛感しています。市民への啓蒙、アピールを考えていただきたく思います。

A. 清村会長からそのシステムと対応についてのスライドを交えた講演もありました。市広報誌に載せたり、シティFMでもこれについて話すように計画しておりますし、すでに県歯のほうの新聞の掲載にも載せていただけないかという話も進めています。

11. 閉会

藤波好文副会長

(広報 飯田誠治)

平成22年度 社団法人熊本市歯科医師会代議員会



2月24日(木)午後7時30分から表記代議員会が開催され、新年度の事業計画案、予算案などの審議ならびに公益法人改革への対応の現況などの協議が行われた。

1. 点呼 古川猛士常務理事

2. 開会 三管 司議長

宮本浩幸副議長

3. 議事録署名人選出

東部3支部 堀田浩史先生

東部4支部 宇治保義先生

4. 物故会員に対する黙祷

中央支部 添島義和先生

平成22年10月2日御逝去

東部4支部 鶴田実馬先生

平成22年11月2日御逝去

南部支部 下村敏朗先生

平成22年12月27日御逝去

5. 会長挨拶

本日は年度末のお忙しい中、代議員の先生方には全員の出席を賜わりありがとうございます。役員任期が2年となり、本会が任期中最後の代議員会でございます。忙しく2年間会務を担当させていただきました。いたらない部分も多い中、代議員の先生方の会務への御協力を感謝いたしております。この半期中にまだまだお若

い先生も含め3名の先生方がお亡くなりになりました。どうか代議員の先生方、御自愛下さい。

本日は来年度の予算案などの審議ならびに多くの協議題がございます。代議員の先生方と執行部一致協力してすすめてまいりたいと思います。よろしくお願いいたします。

6. 報告

1) 会務報告 渡辺猛士専務理事

2) 庶務報告 古川猛士常務理事

3) 会計現況報告 蔵田幸一常務理事

4) 監査報告 興儀実彦監事

7. 議事

第1号議案 平成23年度熊本市歯科医師会事業計画案の承認を求むる件

第2号議案 平成23年度熊本市歯科医師会一般会計予算案の承認を求むる件

第3号議案 平成23年度熊本市歯科医師会収益事業会計予算案の承認を求むる件

第4号議案 平成23年度熊本市歯科医師会退職積立金会計予算案の承認を求むる件

第5号議案 平成23年度熊本市歯科医師会弔慰金制度会計予算案の承認を求むる件

第6号議案 平成23年度熊本市歯科医師会会費及び負担金の賦課徴収方法の承認を求むる件

第7号議案 借入金の限度額の承認を求むる件
(案)

全議案可決承認されました。

8. 協議

協議題の協議に入る前に中央支部、北部2支部から寄せられた事前質問に対する協議が行われた。各支部からの質問は以下の通り。

中央支部

- ①コンサルティング会社による企業歯科健診
斡旋事業に対する対応
- ②衛生士学院の定員割れについて
- ③Tooth Wear に関する市民への啓蒙、ア
ピールについて

北部2支部

- ①市歯会の入会金の設定は今後どうなるのか
- ②社保の保険請求指導について
- ③再指導、再々指導の今後
- ④歯科医師会として口腔ガン健診の活動予定
はないか
- ⑤テレビ情報番組の情報を会で把握できない
か

中央①(執行部) コンサル会社に話を聞いた。
そこと契約した歯科医院で、患者さんに対し、おたくの企業は歯科健診をされませんかと声をかけて、提案していくシステムのようなのである。健診は自由診療のあつかいであるため、現在、会として特別な対応はしていない。

中央②(執行部) 実際に定員割れしそうである。
就職率は100%であるが、今後も日歯にはたらしかけて行政に対応してもらう旨伝えていきたい。

中央③(清村会長) 県歯の方で新聞の記事にしている。またシティFMでも準備をしている。先日発売されたボンドフィルSBは症例によっては使い勝手がよい。

北部2①(執行部) このあとの協議で協議する。

②・③(執行部) 改善を要求していく。
厚労省の見解でも見直す方向と聞いている。
会員と非会員の指導にかかる割合は圧倒的に後者が高い。

④(執行部) 一部自治体では口腔ガン健診を行っているところがある。会でも熊本市に働きかけたい。市民からも要望はあがっており、篠原熊大教授も、是非やりたいとの意向を示されている。西村まさみ参院議員は、国に働きかけておられる。

⑤(執行部) 市事務局のテレビが地デジ化されていないため、地デジ化した時に録画して希望者が後日利用できるよう考えた。

協議題1. 公益法人改革への対応

イ. 新定款策定について

(執行部) 一般社団法人の登記をすべく、新定款を準備しているところです。新法でのいろいろな取り決めに対応すべく、必要なところだけを法にあうように策定していく。
1月21日に説明会を行っており、すでに提出できる状態にある。……その後藤波副会長より定款の主な変更点の説明があった。

ロ. 移行認可に向けての進捗状況について

(執行部) 定款の準備ができているので申請はいつでも可能である。県歯・日歯と時期を合わせれば、任期のズレを生じないので、それらの動向を見ているところである。

ハ. 公益事業の仕分けについて

ニ. 公益目的支出計画と入会金について

(蔵田常務) 21年度の実績より本会の事業を大きく4つに仕分けした。その中で公益に資する事業を選び集計すると予算額で1,900万円程かかっている。収入部分は920万円程なので、年間980万円程必要となる。本会の基本財産繰りこし金8,000万円を使いきるため、これにあてていくと9年程で使いきる予定。余った部分は別途プールしていいということで、それには課税されないと聞いている。自由な使途に使えるが分配はできないことになっている。本会は入会金と会費で収入が成り立っており入会金の減額はむずかしい。

(中央) 毎年支払われている支部分担金はどうなりますか。

(執行部) 移行認可されたのちも続けます。ただし収支報告書を作成する必要が生じます。

(北部3) それはすべて使いきる必要がありますか。

(執行部) できれば公益事業として報告が出るのが望ましいです。

協議題2. 会員動向の変動による財政状況の推移及び今後の予測について

(執行部) 今後10年間で約80名の先生方が終身会員となれることから、毎年7名程の新入会があれば、現在の財政状況がどうにか維持できることになります。また、現在、念書を取り収入割を算定できていますが、それが不可となると、均等割一本となる可能性があります。実際九州八市歯科医師会の中で、本会以外で収入割をとっているのは1市だけです。

協議題3. 植木町、城南町町村合併に伴う会員所属移管について

(執行部) 植木町の17名の先生方、それと現在本会東部1支部会員で植木町で診療されている1名の先生が北部3支部に編入されます。これまで各町で蓄えられてこられた金額を持参金という形で熊本市本会へいただき、入会年数などのこれまでの権利を尊重した形で本会へ編入していただくことになります。

協議題4. 通所型介護予防事業改訂に対する対応について

(執行部) 熊本市の事業として行われている事業において市から1名4千円とする旨連絡がありました。2人で行い2時間以上という同事業は時給に換算すると千円となります。本会が行ったアンケートでは、それでも介護予防事業に貢献すべきだ。もし我々が手を引けば、歯科が介護事業からはじき出されかねないから。という声もいただきました。

(東部2) 前年度の実績を知りたい。

(執行部) 18の診療所で対象者は23名です。本人負担はないので4千円となったから希望者が増えるということはないと考えています。

(北部2) 何を根拠に4千円としたのかを知りたい。

(執行部) 他市町村と比べて熊本市の手当での設定が高い水準だったという話がありました。

(東部1) 一度やらせていただいた感想ですが、3回の報告書の作成は大変でした。事業内容の検討とあわせて行っていただきたい。

9. 閉会 稲葉逸郎副会長

(広報 前川研二)

コラム1

お勧めのディスク

Larry Carlton & Tak Matsumoto - Take Your Pick

グラミー賞をとった、ということで聴いてみました。いやあ懐かし、フュージョンギターの世界。B'zの松本クン今風のフレーズだけど、ラリーの音にノスタルジーを感じてしまう自分が年相応か…

Bob Dylan - In Concert - Brandeis University 1963

まだしっかり言葉をメッセージとして発していたころのディランの発掘物です。ブートレグではなく、公式盤として出てきました。このころの歌い方と去年の極東ツアー(日本、ソウル)、今年のチャイナツアー(台湾、上海)の歌を聴き比べるともうほんとに放り捨てるような歌い方を最近はしています。私程度の耳では聞き取れないこともままあります。困ったもんだ。

新役員を承認

——平成23年度 社団法人熊本市歯科医師会臨時代議員会——



4月7日(木)午後7時30分から臨時代議員会が開催されました。

はじめに東日本大震災の犠牲者に対し黙とうがささげられたのち、新年度の理事の承認など新体制に関する審議が行われました。

1. 点呼 古川猛士常務理事
2. 仮議長選出 東部4支部 宮本浩幸先生
3. 議長及び副議長選出
議長 宮本浩幸先生(東部4)
副議長 秋山 清先生(中央)
4. 開会
5. 議事録署名人名選出
嶋田英敏先生(中央)
田ノ上輝先生(北部1)
6. 会長挨拶 清村正弥会長

本日は診療後お疲れのところ出席いただきありがとうございます。3月の通常総会におきまして2期目の会長を仰せ付けられました。よろしくお願い申し上げます。先の大震災はかつてないほどの被害で、息の長い支援が必要です。まずは県歯の義援金への御協力をよろしくお願いいたします。本日は植木町との合併で北部3支部代議員として中嶋先生にも新たに御出席いただいております。よろしくお願いいたします。臨時代議員会は、定款中の人事の承認を得るためのものです。第1号から6号までの議題があ

ります。よろしく御審議の程お願いします。

7. 報告 渡辺猛士専務理事

- ・県歯代議員、予備代議員
- ・国保組合会議員
- ・連盟評議員、予備評議員

8. 議事

- 第1号議案 理事の承認を求むる件
- 第2号議案 裁定審議会委員の承認を求むる件
- 第3号議案 選挙管理委員会委員、同予備委員の承認を求むる件
- 第4号議案 医道委員会委員の承認を求むる件
- 第5号議案 顧問の承認を求むる件
- 第6号議案 植木町・城南町より移管される先生方
全議案可決承認されました。

9. 協議

植木町との合併で北部3支部の代議員となられた中嶋隆志先生からごあいさつがあった。



10. 閉会 稲葉逸郎副会長

(広報 前川研二)

「事業資金の借り方・返し方」～銀行は、決して教えてくれない真実～

——医療管理委員会セミナー——



2月10日（木）午後7時30分より熊本市歯科医師会3F市会議室において、医療管理委員会セミナーが開催されました。今回は（株）リスクマネージメント・ラボラトリー 熊本支店長の甲斐大童さんを講師に迎え「事業資金の借り方・返し方」～銀行は、決して教えてはくれない真実～について講演していただきました。

まず最初に宮本理事の挨拶と講師紹介があり、その後講演が始まりました。

講演内容は1. ローンと利息、2. 「繰上返済」のからくり、3. ローンの効果的な活用法、4. 家計の見直しとリタイアメントプランでした。

講演のチェックポイントとして、借入金額、金利、期間、借入方式をあげられました。今回の講演では話だけではなく、実際の試算表を元に具体的な例をひとつひとつ出して比較し、どれだけの差が出るかを分かりやすく説明してもらえました。

例えば、事業資金などを元利均等払で借り入れている場合、効果的な繰上げ返済をしていくには、元金の割合が大きくなる後半より、ほとんどが金利の返済に充てられている前半に行うほうが、効果が大きいと述べられました。また、「繰上返済」のタイミングとしては10年後の「一括繰上」より、計画的な「一部繰上」のほうが同じ額を返済するにしても得になるので、早い時期に少しずつでも計画的に返済していったほうが良いと話されました。実際にシミュレーションしてみると、総返済額を見てみると驚く程の差が出るようです。

銀行の預金金利がほとんどゼロに近い現状では、預貯金として持っておくよりは計画的に繰り上げ返済を行った方が、かなり得なようです。ただ、手持ちの現金が減りますので、バランスを考えないと、いざという時のキャッシュ不足に陥る可能性がありますので注意が必要です。また、繰り上げ返済を行う時期によっても効果が違いますので（早いほど大きい）詳しくは、一度シミュレーションをしてもらえばよくわかります。

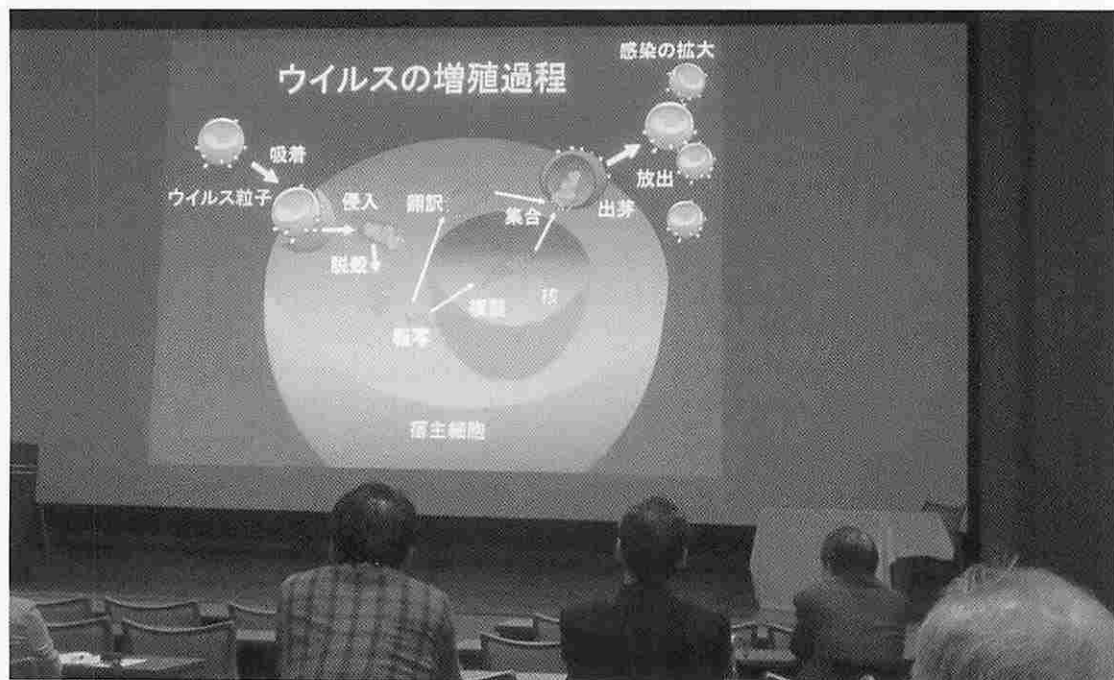
さらに、ローンの効果的な活用法として車購入や、教育資金などは、現金を使うか、ローンを組むかを考える場合、利息を考えたうえで、ローンを組んだお金を住宅ローンや事業資金借入れの繰り上げ返済に充てる方法なども話されました。

最後に、まとめとして1. 事業資金やローンは、「期間」はできるだけ短く、「金利」はできるだけ低くする。2. 開業資金の借入れ、住宅ローンの「一部繰上」を有効活用しよう。3. 現金払いだけが脳じゃない。4. 車購入、教育資金、改装資金も計画的に。5. 「経費」や「家計」の見直しをやってみよう。と述べられて終わりました。

具体的でとてもわかりやすいセミナーで、多くの参加者があり盛況のうちに終了しました。厳しい経営を強いられている現在、かきこい資金の活用を行う事で、少しでも無駄を省く大きなヒントになりました。この様な話は、銀行は決して言いません。知らないとい損をするなど痛感いたしました。（医療管理 高橋 禎）

ウイルス性肝炎の基礎知識と最近の話題

第56回医歯連携セミナー
(熊本有病者歯科医療研究会講演会)

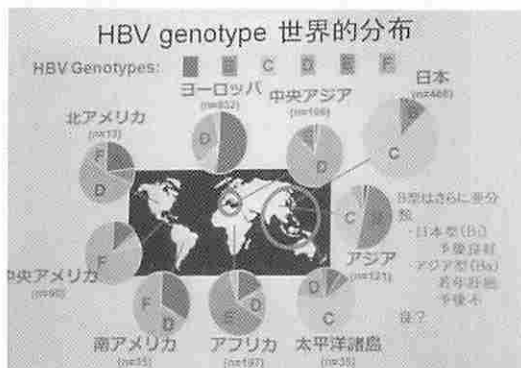


2月17日(木)20時から、国立病院機構熊本医療センター地域医療研修センターにて、第56回医歯連携セミナーが開催された。熊本医療センター消化器内科医長の杉和洋先生を講師にお迎えし、「ウイルス性肝炎の基礎知識と最近の話題」という演題で講演が行われた。座長は熊本医療センター歯科口腔外科医長の中島健先生がつとめられた。

ウイルス性肝炎とは肝炎ウイルスが肝細胞に感染しておこる炎症性細胞障害のことで6ヶ月以内に症状が軽快する急性肝炎と、それ以上肝機能異常が持続する慢性肝炎とに分けられる。

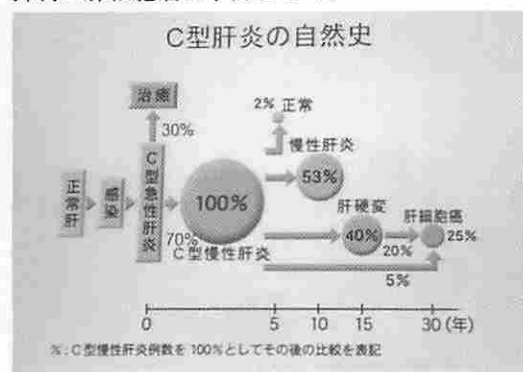
急性肝炎を引き起こすウイルスにはA、B、C、D、E型などの肝炎ウイルスとサイトメガロウイルスやヘルペスウイルスなどがある。症状として、全身倦怠感、吐き気、嘔吐、発熱、黄疸、掻痒感などがあり、主な感染経路は、A型が牡蠣など魚介類の生食などの経口感染、B、

C型は針刺し事故や輸血などの血液感染や性交渉による感染、E型が鹿、猿、豚などの肉やレバーの生食による経口感染である。急性肝炎では自覚症状があり、重症化や劇症化、慢性肝炎への移行などの問題点がある。よって、急性肝炎の治療の目的は、自覚症状の軽減、肝機能異常の速やかな改善、重症化、劇症化への進行を抑えることになる。HBVにはAからHまで



の8つのタイプの遺伝子型（ジェノタイプ）があり、日本古来の肝炎ウイルスのジェノタイプはBまたはCである。これらのジェノタイプのウイルスによる急性肝炎は通常6ヶ月程度で治癒する。ところが最近、外国人が多い日本の都市部では、ヨーロッパに多いジェノタイプAの急性肝炎が増えてきている。このジェノタイプAは6ヶ月では治癒せずに慢性化することが多い。

慢性肝炎を引き起こすウイルスはB型が20%、C型が70%、その他が10%となっている。自覚症状はほとんどなく、検査値異常が診断の契機となる。慢性肝炎の問題点としては、B型肝炎では急性増悪、劇症化することがあり、肝硬変への進展や肝細胞癌の発症などがあげられる。よって、治療の目的は、B型では肝硬変への移行と劇症化の抑制、C型では肝硬変への移行の抑制と肝細胞癌の予防となる。



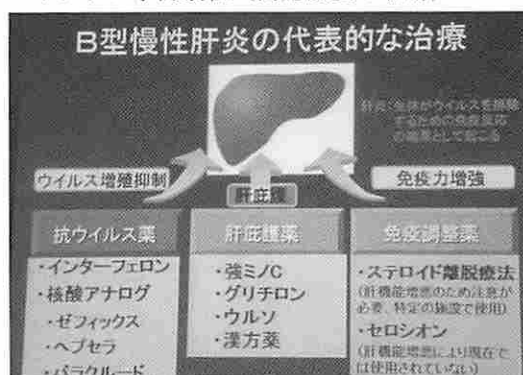
現在のインターフェロン治療では60%程度の治癒率となっている。甲状腺異常や精神症状、眼疾患、糖尿病の悪化などの副作用の発現の可能性を治療前に患者に十分に理解してもらい、早期に副作用を発見し、対症療法を行うことが重要である。

肝炎ウイルス感染予防は患者の立場からいうと次のようなことがあげられる。

- ・可能な限り輸血は受けない
- ・出血時血液付着物の処置は自分でやる（廃棄、焼却、水洗、消毒）
- ・分泌物（唾液、鼻水）、排泄物の始末と手洗いの励行
- ・日用品の専用（カミソリ、タオル、歯ブラシ）
- ・食べ物の口移しはしない
- ・予防接種（配偶者、子供、渡航者）
- ・感染の可能性のある生食はさける

そして、医療者の立場からいうと次のようなことがあげられる。

- ・可能な限り輸血を行わない、血液製剤を使用しない
- ・病棟、検査室、診療室での飲食、喫煙は行わない
- ・血液に暴露する医療行為は手袋を着用し、毎回交換する（かすり傷や荒れて炎症を起こした手からの感染防止）
- ・血液付着物の処理は専用の廃棄入れに入れ、リキャップはしない（注射針、刃物、血液汚染材料等）
- ・手袋による汚物の始末とヒビスコール手洗いの励行
- ・ワクチン予防接種（高危険度の職場）



また、国の政策としては平成21年に肝炎対策基本法が定められた。肝炎対策の基本理念を定めるとともに、国と地方公共団体、医療保険者、国民、医師等の責務を明らかにした上で、肝炎対策の連携に関する指針を策定し、肝炎の予防・早期発見・療養について肝炎対策を総合的に推進することを目的としており、肝炎患者や肝炎ウイルス感染者への医療体制の整備や経済的な支援が規定されている。

我々歯科従事者は日々血液や唾液などに触れる機会が多く、医科よりもかえって感染のリスクが高いとも考えられる。自分自身はもちろんの事、スタッフや他の患者にも感染させない様なシステムの構築と、病気に対する正確な知識の獲得、不幸にして感染のリスクに遭遇した場合は適切な対処法を日頃から心がけておく事が大切だと再認識させられた。その様な意味で、大変有意義な講演会であった。

（医療管理 関 喜英）

『正しい知識を知って、無駄のない保険請求を』

会員を対象とした保険請求に関する勉強会開催される

3月24日（木）、一部会員を対象とした保険請求に関する勉強会を歯科医師会館にて開催いたしました。

平日の夜の開催でしたが、多くの先生方に御参加いただく事が出来ました。

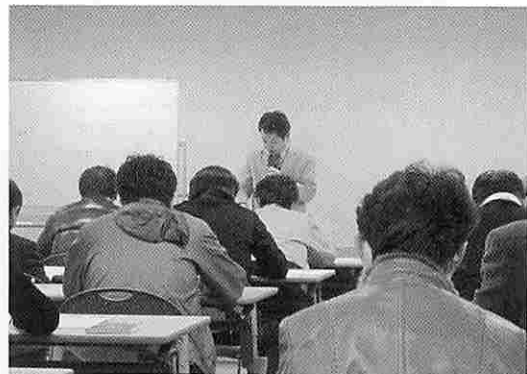
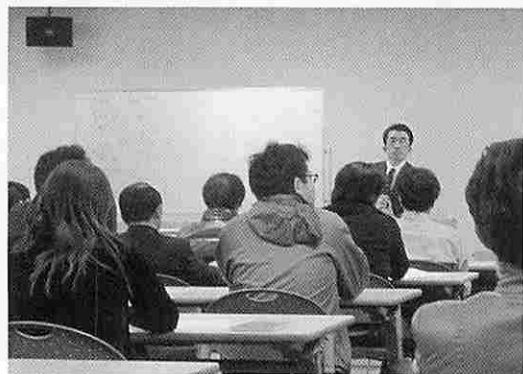
勉強会では、新任の医療審議官の解釈が従来までの解釈と異なる点の多い歯周治療の進め方と歯管の算定のしかたについて重点的に説明させていただきました。

まず歯管の算定については、必要な検査、診査を一口腔単位で全て行った後に算定する事が重要です。すなわち、歯管算定後のP検査や、

症状確認、急性症状以外でのレントゲン撮影は、好ましくないとの事でした。

また、歯周治療に関しては、処置後の再評価を適切に行い、必ず改善を確認する事、補綴に移行する場合は治癒、又は安定を確認した後に行う事が必要で、その後のメンテナンス治療も、治癒又は安定と整合性がとれる形で行う事が望ましいとの事でした。

臨床の間では、なかなか定形通りに進まない事も多々ありますが、保険診療を行う際には、青本に則した形で行うようお願い致します。



（社保 西山挙規）

〜 コラム2 〜

お勧めのディスク

Bruce Springsteen The Ultimate Best Of 2011 Remastered

どこのだれが選曲したか知りませんが、ひそかにネットで流布しているボスのコンピ。全42曲。アズベリーパークから最新の曲までばらばらに入れてあるせいで、曲ごとに天神地下街でのあのこと、中州でのこのこと、と思いが次々と浮かんできます。この歌でこのシーン。そういうことってありません？

The Rolling Stones The Ultimate Best Of 2011 Remastered

どこのだれが選曲したか知りませんが、ひそかにネットで流布しているストーンズのコンピ。全60曲。黒く塗れから今に至る彼らを60曲でよくまとめたもんです。これまた思い出が走馬灯のようにめぐる選曲となっております。ブライアンジョーンズのはじけ方は半端じゃなかったなあ。

『高齢者による義歯の誤飲に御注意を』

～平成22年度第2回国立病院機構熊本医療センター開放型病院連絡会～



2月26日（土）国立病院機構熊本医療センター（2階 地域医療研修センター）において、平成22年度第2回（通算第30回）国立病院機構熊本医療センター開放型病院連絡会が開催されました。

最初に、国立病院機構熊本医療センター院長の池井聰先生が、「当連絡会は15年目を迎え今回で通算30回目となります。そして、当病院では、ほとんどの患者さんが地域の先生からの紹介であり、日頃から大変お世話になっております」とお礼を述べられました。



次に、開放型病院運営協議会委員長で熊本市医師会会長の福島敬祐先生より挨拶があり「熊本医療センターは、熊本市内の公的病院のなかでもいち早く開放型病院となり、平成14年には全国で初めての地域医療支援病院として承認を受けた。また現在、登録医は1,486医院（医科



1,214医院、歯科272医院）と1,000件を超え地域の中核を担っている」と述べられました。

続く全体会議では、熊本市医師会理事の家村昭日朗先生と、河野副院長が進行を担当し、症例呈示として、宮成信友外科医長による“有鉤義歯の誤飲症例”について2010年1月～12月の1年間に経験した3例を中心に講演がありました。食道異物は乳幼児と高齢者に多く、特に高齢者では、魚骨、義歯、PTP（press-through-pack）が多いということでした（義歯は、食道異物全体の5～10%）。また有鉤義歯の摘出は、形状が複雑で内視鏡的摘出が困難なため、開胸等の緊急手術が適応されることが多かったです。今回の報告は3例とも高齢者で認知症や精神疾患を有しており、義歯が紛失している場合には、誤飲を念頭に入れる必要があるとのことでした。今回のケースでも、QOLの低下でレントゲンを撮っ

て初めて義歯の存在に気がついたものもあったそうです。コミュニケーションができない場合は本人の訴え、自覚症状がない場合もあり、注意が必要です。実際に義歯が食道の途中に引っかかっているレントゲンやCTの写真をみると、日々義歯を触っている我々歯科医師にとって、ぞっとするものでした。今後、高齢化社会につき進む日本では、このような症例が増加して行く可能性が大きいので、本人のみならず、家族や介護を担当する方への注意喚起を促し、口腔内をチェックしていただく必要性を感じました。

続いて、病院からの連絡事項として、末次剛輝企画課長から今後のヘリポート・保育施設などの工事予定についての説明があり、また片渕茂地域医療連携室長から、a) 共同指導手順についてb) 登録医の玄関表示についての説明がありました。登録医になった方の医院名が正面玄関の壁に掲示してあります。ぜひ一度ご覧下さい。また、登録医の募集は随時行われていますので、まだの方はぜひ登録されて下さい。

最後に、熊本市歯科医師会清村正弥会長より、当開放型病院と歯科医師会との関係、さらに口腔ケアの重要性と熊本市歯科医師会としての取り組みなどについて紹介があり、連絡会を終了いたしました。



次に特別講演に入り、厚生労働省大臣官房厚生科学課長 塚原太郎先生より、“医療提供体制の課題と最近の話題”の演題で講演がありました。まず、医師不足について診療科別の特徴およびその背景について、データをもとに分かりやすく説明がありました。そして全国規模で行われた、「病院等における必要医師数実態調査」について話がありました。都道府県別に



見ると熊本県は、必要医師数は少なく比較的医師は足りている、というデータが示されました。また、診療科別に見ると、リハビリ科・救急科などに特に医師が足りていないということでした。歯科医師数については、年々増加しており人口10万人当たり歯科医師数は75.5人（平成20年）と急増しているということでした。

次に在宅医療の現状について説明がありました。ここ数年では、一般診療所における訪問診療が増えてきており、地域の先生が積極的に訪問診療を行っているとのデータが示されました。また、在宅医療の主治医（医師）が連携を必要とした診療科は歯科が最も多く（治療内容ではほとんどが「入れ歯」）、在宅医療における歯科の重要性が示されました。最後に、将来の動向として、新成長戦略として、医療イノベーションについて説明がありました。医療イノベーションとは、日本発の革新的な医療品・医療機器や再生医療をはじめとする最先端の医療技術の研究開発を推進し、その実用化を促進することであり、実現すると医療品・医療機器を迅速に提供することが出来るようになり、患者の選択肢が拡大されることが期待されているとの事でした。

前回に続き参加者も多く、大変実りの多い連絡会になりました。熊本医療センターの統計を見ても、毎年数例の義歯誤飲事故が起っており、内視鏡による摘出の他、開胸・開腹による摘出も行われている様です。このような義歯誤飲事故は、高齢化が進み、今後増える事が予想され、病診連携の重要性が増してくると思われます。次回からは、もっと沢山の歯科の先生方に出席して頂き、病診連携がさらに充実しますことを期待しております。（医療管理 片山晃紀）

今期の反省を来期の課題への糧へ ～熊本市歯科医師会合同委員会～

3月19日（土）午後7時から、ニュースカイホテル25階グランミュールにおいて、渡辺猛士専務理事の司会進行により、熊本市歯科医師会合同委員会が、行なわれました。

まず最初に、3月11日に発生した東日本大震災により犠牲となられた方々に対し、黙祷を行ない、医道委員会の山室紀雄先生が乾杯の音頭を取られて宴が始まりました。

各委員会の理事もしくは委員長が、今期の委員会活動の報告や反省点、来期に向けての課題

等を発表した後、懇談の時間となりました。震災直後ということもあり、津波の恐しさや福島第1原発の事故等が、話題の中心となっていたようでした。懇談中に、被災された方々に対する義援金が集められ、約12万円が、日本赤十字社を通じ贈られることになりました。

宴も開、清村正弥会長、藤波好文副会長のリードで、被災地に届けとばかりに全員で「頑張れ、日本！」と叫びお開きとなりました。

（厚生 瀬井知己）

合同委員会より東北関東大震災義援金

合同委員会にて、出席者の皆様から義援金を頂きました。ありがとうございました。3月23日、日本赤十字社熊本県支部に持参いたしましたので、報告いたします。

領 収 証

一金 123,168 円

ただし 東北関東大震災義援金として

上記のとおり領収しました。

平成 23 年 3 月 23 日

熊本市歯科医師会合同委員会 様
清村 正弥

熊本市長嶺南二丁目1番1号
日本赤十字社熊本県支部長

個人については所得税法第78条第2項第1号、法人については法人税法第37条第3項第1号の規定により寄付金並びに、地方税法第37条第2項第1号及び第31条第2項第1号に規定する寄付金に該当



取扱者印



平成22年度第2回熊本市歯科救急医療協議会 及び伊東歯科口腔病院との開放型病院連絡協議会



4月4日(月)19時30分より県歯科医師会館3階第一会議室にて熊本市歯科救急医療協議会が開催された。

医療管理委員会宮本格尚理事の進行のもと、市歯科医師会藤波好文副会長より、日頃から歯科救急に対応していただいている国立病院機構熊本医療センター、伊東歯科口腔病院、宇治歯科に対してお礼を述べられ、その後、出席者の紹介が行われた。

出席者は(敬称略)国立病院機構熊本医療センターより中島健歯科医長、伊東歯科口腔病院より伊東隆利(病院長)、伊東隆三(副病院長)、國芳秀晴(診療部長)、伊藤三樹男(事務長)、宇治歯科より宇治寿隆(院長)、熊本市歯科医師会より藤波好文(副会長)、渡辺猛士(専務理事)、松田恵(厚生委員長)、宮本格尚(医療管理理事)、町田宗一郎(医療管理委員)の10名であった。

事例報告として先ずは歯科医師会の松田先生より、日曜祝日在宅歯科利用状況(昼間・夜間)について報告が行われた。

歯科医師会が行っている休日夜間診療実績は下記の通りであった。

平成21年度

4月：14名	5月：27名	6月：5名
7月：18名	8月：9名	9月：25名

10月：19名	11月：14名	12月：7名
1月：22名	2月：15名	3月：16名
計191名		

平成22年度

4月：10名	5月：42名	6月：10名
7月：7名	8月：11名	9月：25名
10月：18名	11月：12名	12月：10名
1月：15名	2月：7名	3月：11名
計178名		

祝日が多い月は、やはり受診も多いようだった。平成22年度が前年に比べて減少しているのは、近年の開業医が祝日を開けたり、診療を遅くまでやるところが増えたからかもしれない。

中島先生からは、国立病院機構熊本医療センターは救急医療に力を入れている関係で、救急車等で搬送されてくる場合は、まず救急医療の方が対応を行い、2次的に口腔外科に依頼をされるケースはあるが、純粹に歯科の方に救急として来院されるケースはまだ多くはないとの説明があった。

宇治歯科からは、現在、夜間の方は対応ができておらず伊東歯科にお願いしている状況であるが、近いうちに体制を整えて、夜間にも対応できるように準備中であるということだった。

伊東歯科口腔病院からは資料をもとに実績の説明があった。これは後述の開放型連絡協議会

の所で述べる。

その後、全員で協議を行った。

藤波副会長より、3月に東北地方を襲った大地震と津波による災害に対して現在どのような対応がなされているか、現状の厳しさ、また、阪神淡路大震災の後日本歯科医師会によって作成された「大規模災害時の歯科医師会行動計画」を紹介された。基本的な考え方として、「大規模災害が発生した場合、都道府県歯科医師会および市区町村歯科医師会は災害時協定等に基づき行政が設置する災害対策本部等と連携し、医療救護や身元確認等、様々な要請に対し迅速に対応しなければならない。さらに長期にわたる避難生活者への口腔ケア対策や、速やかな地域歯科医療の復旧を果たすためには、歯科医師会と行政および関係団体との事前協議により、円滑な連携を図るとともに、平時より歯科医師会や会員の行動計画をあらかじめ取り決めておくことが不可欠である。また、地域により地震、水害など被害が発生しやすい状況が異なることか

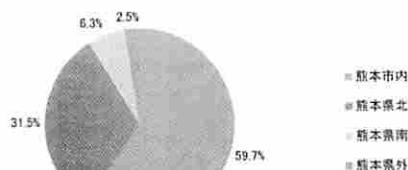
ら、その地域性を考慮した計画があることにより、会員レベルにおいても事前の備えや、予備知識に基づいた適切な行動をとることが可能となり、被害をより少なく抑え、さらに復興を早める効果が期待できるものと考える。」

目的としては、「大規模災害時の歯科医師会行動計画は災害発生時の日歯、県歯、郡市区歯、会員の取るべき行動ならびに関係機関等との連携について示したものであり、救急歯科医療の整備体制から、身元確認への出動、復興期における避難所の口腔ケア等の実施、さらには、それらの基盤となる会員診療所の復旧支援、等を円滑に実施することを目的とする。」

その他、中身も含めてしっかりとしたマニュアルが作成されているので、いつ起こるか分からない災害に対して日頃より目を通しておく必要性を感じた。

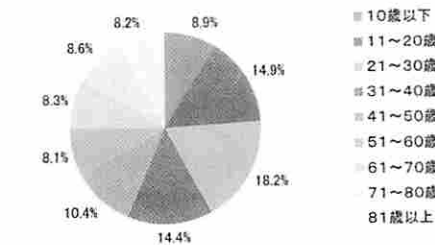
外来・紹介患者地域分布 (H22/1～H22/12)

	熊本市内	熊本県北部	熊本県南部	熊本県外
合 計	962	508	101	41



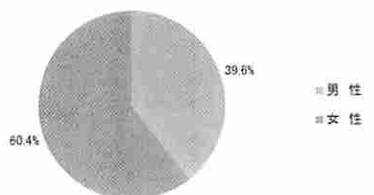
外来・紹介患者の年齢別 (H22/1～H22/12)

	10歳以下	11～20歳	21～30歳	31～40歳	41～50歳	51～60歳	61～70歳	71～80歳	81歳以上
計	144	240	294	232	168	130	134	138	132



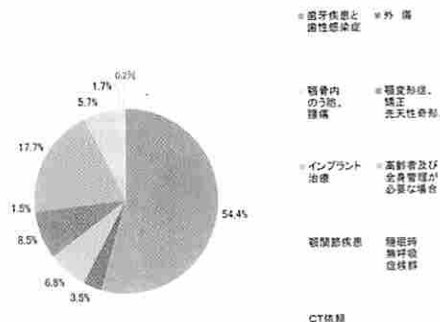
外来・紹介患者の男女比率 (H22/1～H22/12)

	男 性	女 性	横 計
合 計	638	974	1,612



外来・紹介患者地域分布 (H22/1～H22/12)

	歯牙疾患と歯性感染症	外傷	顎関節の炎症、腫痛	顎変形症、矯正、先天性変形	インプラント治療	高齢者及び自身管理が必要な場合	顎関節疾患	顎関節時無呼吸症候群	C.T依頼
計	973	62	122	153	27	317	102	30	4



救急患者の割合（平成22年分）

	外来 初診数	救急患者初診	救急患者 の割合 救急初診 外来初診	逆紹介数	逆紹介率 逆紹介数 救急初診
H22年 1 月	687	285	41.5%	181	63.5%
2 月	493	114	23.1%	64	56.1%
3 月	606	177	29.2%	104	58.8%
4 月	551	151	27.4%	50	33.1%
5 月	683	296	43.3%	159	53.7%
6 月	579	182	31.4%	56	30.8%
7 月	576	194	33.7%	75	38.7%
8 月	576	178	30.9%	73	41.0%
9 月	570	207	36.3%	78	37.7%
10月	611	177	29.0%	64	36.2%
11月	583	153	26.2%	61	39.9%
12月	572	250	43.7%	84	33.6%
計	7,087	2,364	33.4%	1,049	44.4%

※初診の救急患者様を近くの連携医の先生に紹介しております。

紹介率と逆紹介率（平成22年分）

	初診数	歯科からの 紹介数	医師からの 紹介数	紹介数計	紹介率	逆紹介数	救急 患者数	救急患者 逆紹介率
H22年 1 月	687	82	9	91	13.2%	181	285	63.5%
2 月	493	104	9	113	22.9%	64	114	56.1%
3 月	606	116	36	152	25.1%	104	177	58.8%
4 月	551	134	35	169	30.7%	50	151	33.1%
5 月	683	98	20	118	17.3%	159	296	53.7%
6 月	579	99	24	123	21.2%	56	182	30.8%
7 月	576	112	24	136	23.6%	75	194	38.7%
8 月	576	125	34	159	27.6%	73	178	41.0%
9 月	570	108	32	140	24.6%	78	207	37.7%
10月	611	122	19	141	23.1%	64	177	36.2%
11月	583	103	42	145	24.9%	61	153	39.9%
12月	572	92	33	125	21.9%	84	250	33.6%
計	7,087	1,295	317	1,612	22.7%	1,049	2,364	44.4%

今回、初めて歯科救急医療協議会として一同に介して話し合いの場を設けたが、今回所用で欠席された熊本大学医学部歯科口腔外科も含めて今後も体制の整備や協力医療機関を増やす努力の必要性を確認し、渡辺専務理事の閉会の挨拶で終了した。

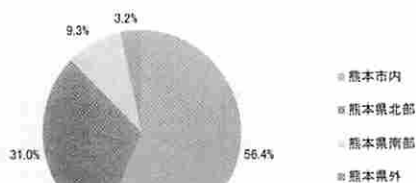
引き続き、第2回熊本市歯科医師会と伊東歯科口腔病院との開放型連絡協議会が行われた。

先ずは伊東歯科口腔病院より平成22年1月から12月までの1年間に連携歯科医師の先生方から紹介いただいた外来、入院患者の臨床統計と開放型病床の利用状況、共同診療の現況について報告があった。以下、提示された資料を添付する。

また伊東歯科口腔病院は24時間365日救急患者を受け入れているが、救急処置後の治療の継続のため患者の居住地の近くの連携歯科医師の

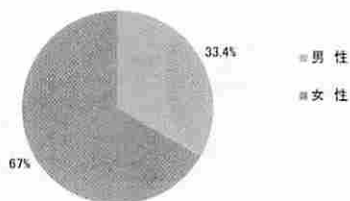
入院患者の地域分布 (H22/1～H22/12)

	熊本市内	熊本県北部	熊本県南部	熊本県外
合 計	508	279	84	29



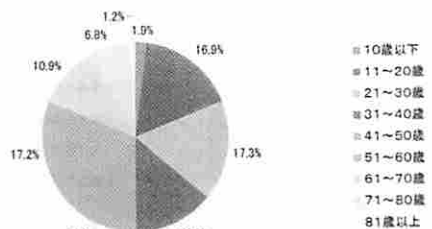
入院患者の性別 (H22/1 ~ H22/12)

	男 性	女 性	横 計
合 計	301	599	900



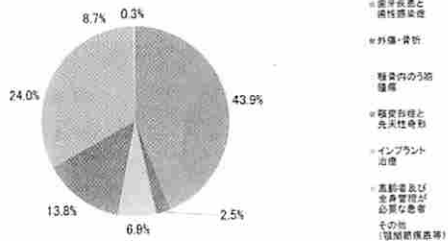
入院患者の年齢別 (H22/1 ~ H22/12)

	10歳以下	11～20歳	21～30歳	31～40歳	41～50歳	51～60歳	61～70歳	71～80歳	81歳以上
計	17	152	156	124	126	155	98	61	11



入院患者の疾患別 (H22/1~H22/12)

	歯牙疾患と 歯性感染症	外傷・骨折	顎骨内 のう腫、 腫瘍	顎変形症、 矯正 先天性畸形	インプラント 治療	高齢者及び 自身管理が 必要な場合	その他 (顎関節 疾患等)	計
計	460	26	72	145	252	91	3	1,049



開放型病床利用と共同診療（平成22年分）

	入院 患者数	入院 延日数	紹介の入院 患者数	連携歯科医からの 紹介患者数	開放型病床			共同診療			
					利用延日数	稼働病床数	稼働率	先生数	件数	病床延数	稼働率
H22年 1 月	69	322	32	22	246	155	158.7%	4	4	36	23.2%
2 月	76	380	33	30	183	140	130.7%	2	5	42	30.0%
3 月	90	502	37	30	195	155	125.8%	1	2	31	20.0%
4 月	88	377	35	28	197	150	131.3%	3	9	52	34.7%
5 月	62	303	25	19	135	155	87.1%	3	3	28	18.1%
6 月	74	372	32	21	166	150	110.7%	6	6	42	28.0%
7 月	68	266	21	21	119	155	76.8%	0	0	33	21.3%
8 月	84	480	34	29	177	155	114.2%	4	6	67	43.2%
9 月	78	513	36	30	313	150	208.7%	7	7	64	42.7%
10月	76	371	31	27	157	155	101.3%	5	5	45	29.0%
11月	68	331	27	19	167	150	111.3%	0	0	4	2.7%
12月	67	258	27	23	177	155	114.2%	7	8	58	37.4%
H23年 1 月	67	265	29	23	158	155	101.9%	4	4	56	36.1%
2 月	75	382	29	25	161	140	115.0%	5	5	46	32.9%
計	1,042	5,122	428	347	2,551	2,120	120.3%	51	64	604	28.5%



先生方への逆紹介を行っており、その実態についても報告があった。

開放型病院とは、かかりつけの先生方と協力して、患者中心の一貫性のある医療並びに先生方との研究・設備の開放と共同利用を実施すること。開放型病床では、かかりつけの先生方に病床の一部を開放し病診連携の一環として共同診療を行う。

開放型共同診療科として、連携歯科医に350点、病院に220点が1人1日につき1回算定できる。

平成22年1月から12月までに連携歯科医を核として連携歯科医以外および医科からの紹介を含めると1612件（紹介率23%）になる。

診療内容は歯牙疾患と菌性感染症（埋伏歯をはじめとする抜歯依頼、消炎処置）、基礎疾患を持った患者の麻酔処置、観血的処置などの依頼が多く、地域の先生方の身近な問題の解決のために利用されていることが伺える。伊東歯科口腔病院の受診者（2364人）の内1049人（44.4%）については、救急処置後に地域の先生方に

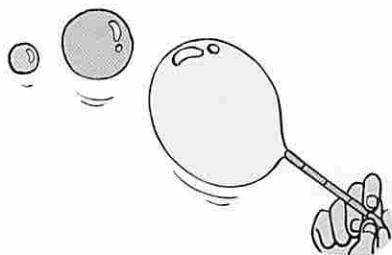
診療依頼（逆紹介）を行って、医療の機能分担を進めている。入院症例900例の内370例（41.1%）が紹介によるもので、開放型病床（5床）の利用率は122%で定められた稼働率（20%）を超している。一方、共同診療は、42名55回延病床数502床で、27.5%の稼働率であった。

伊東先生より、共同指導をもっと増やしていきたいとのご提案があった。病院側としては、紹介したドクターの都合に合わせて柔軟に対応するとの事で、必ずしも診療時間内だけではなく、昼休みや診療後でも対応するので気軽に足を運んでいただきたいとおっしゃった。その結果、共同指導の点数も算定できるし、何よりも患者さんが一番喜ばれ、紹介元に逆紹介する際もスムーズに事が運ぶとの事であった。

熊本県医療圏で地域歯科診療支援病院が県北では伊東歯科口腔病院だけとなり、今後はこの連携をさらにすすめ、開放型の利用、共同診療、逆紹介の推進を行い、地域歯科医療の向上に努めたいということだった。



（医療管理 町田宗一郎）



「咬合調整と補綴処置により下顎位を修正した1症例」

新外レッツ歯科 山口 英司

開業して約5年が経過しました。まだ歯科医師として経験不足ですが、私が経験した1症例をご報告させていただきます。

症例

患者は初診時43歳女性で、2009年7月初診。主訴は右下4番のインレーの脱離で痛みはありませんでした。(図1、2)。口腔内を拝見した

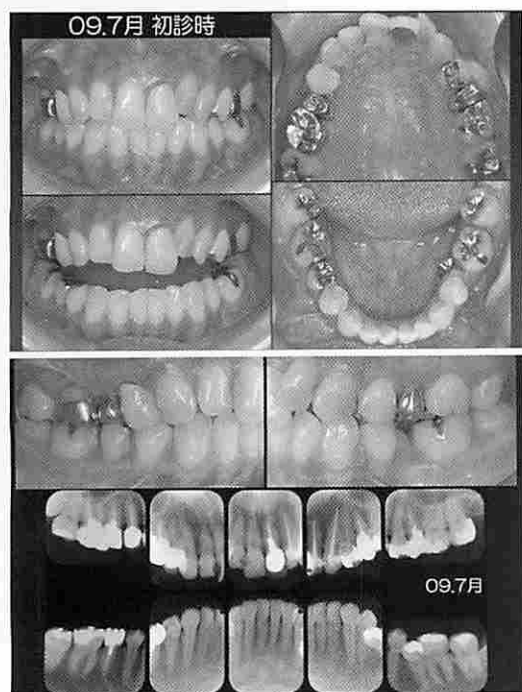


図1、2

ところ不良補綴物が認められ、それらのためか咬頭嵌合位が不安定で、「咬んでください」といってもなかなか下顎位が安定しませんでした。また、犬歯より前方の歯牙は対合歯との咬合接触はなく、咬頭嵌合位と思われる位置では上下の歯牙の正中は下顎が左側に約1mmずれていますが、ドーソンテクニックにより下顎を誘導してみると上下の歯牙の正中はほぼ一致していました。

これらのことから、歯列不正のためもしくは、

過去において繰り返し行ってこられた補綴処置により段々と下顎位が変位してきたものと考え、今回は下顎位を修正し、咬頭嵌合位の安定を最大の目標に治療を開始していきました。(今回の治療では患者が全顎的な矯正治療は望まれませんでした)

治療経過

初診時は脱離している右下4番の応急処置を行い、その時点で咬頭嵌合位が不安定でありましたので、患者には噛み合せがずれていること(安定していないこと)、これを修正するには多くの補綴処置を要することなどを大まかにお話し、終了しました。2回目の来院時にどれくらいの治療が必要になるかとの質問があったため、資料の採得とスタディーモデルによる咬合診断を行うこととお話し、了承を得ました。スタディーモデルとフェイスボウを採得し、咬合採得はドーソンテクニックによる下顎の誘導法により行いました。(何度行っても同じ位置に誘導され、患者自身もその位置を保持できたため)

スタディーモデルを咬合器に付着した状態です(顎頭安定位と思われる位置)(図3、4)。

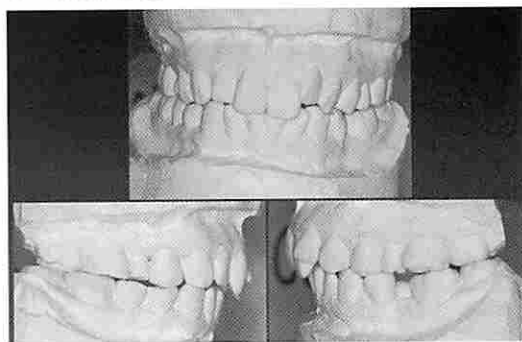


図3

上下の歯牙の正中は一致しており、臼歯部の早期接触により上下顎の前歯部間には大きな空隙が認められました(正中に関しては上下が合っているから正しいというわけではなく、今回は

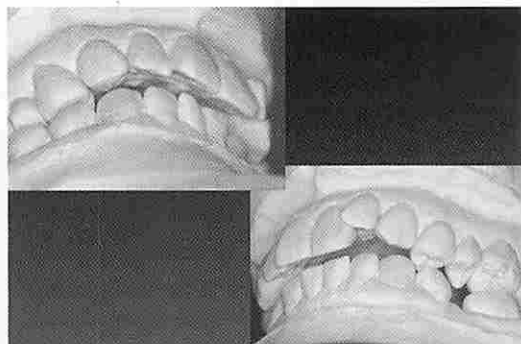


図 4

誘導したらたまたま一致していました)。それから咬合器上で早期接触の位置を咬合紙にてマークし、スタディーモデル上で咬合調整をしていきました(図5)。咬合器上で上下臼歯部の歯

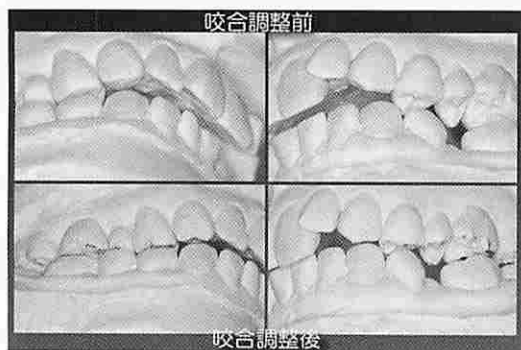


図 5

牙接触がほぼ均一になってきたところで、削合下部位をマジックにてマークしてあります(図6)。また、上下の前歯部に関しては前後のな

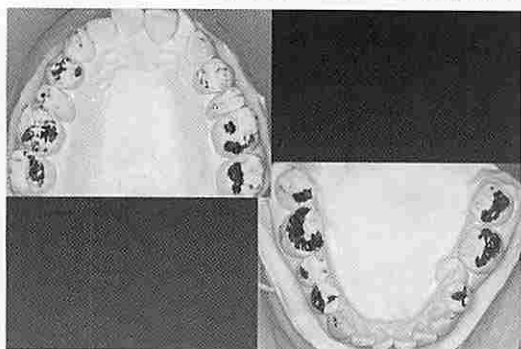


図 6

ポジションのズレがあったため、咬合接触するところまでは削合出来ませんでした。患者には削合量が大きかった歯牙については補綴処置が必要になること、上顎の左右の犬歯については

咬合調整によって咬合接触を与えるのは難しいため、口蓋側にCR充填することで咬合接触を与えることをお話し、了承を得ました。

スタディーモデルを参考にして口腔内で早期接触部位を咬合調整したときの写真です(図7、8)。ほぼスタディーモデルと同じ位置まで咬

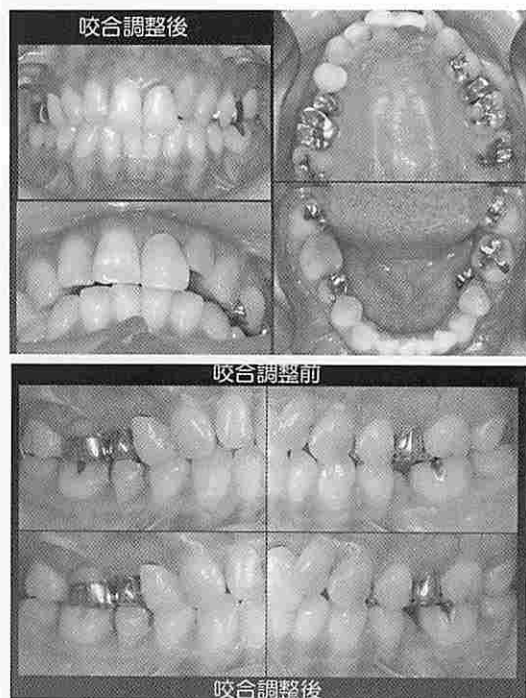


図 7、8

合調整ができています。咬合調整した次の来院時に患者より、かなり咬みやすくなって、噛み合わせが安定しているとの評価を頂きましたので、この下顎位にて従来の補綴物をテンポラリーレストレーションに変更していきました。

左上2番に関しては、近心の縁下カリエスと歯牙のポジションが唇側に変位しているため歯頸線の不揃いが認められます。よって、MTM(矯正の挺出)を行い、これにより縁下カリエスを歯肉縁上にし、歯頸部での歯牙の幅径を細くでき、歯頸ラインを揃えることができました(図9)。

その後順次補綴処置を行い、2010年12月(初診より1年5ヶ月)に治療が終了しました(図10、11)。



図 9

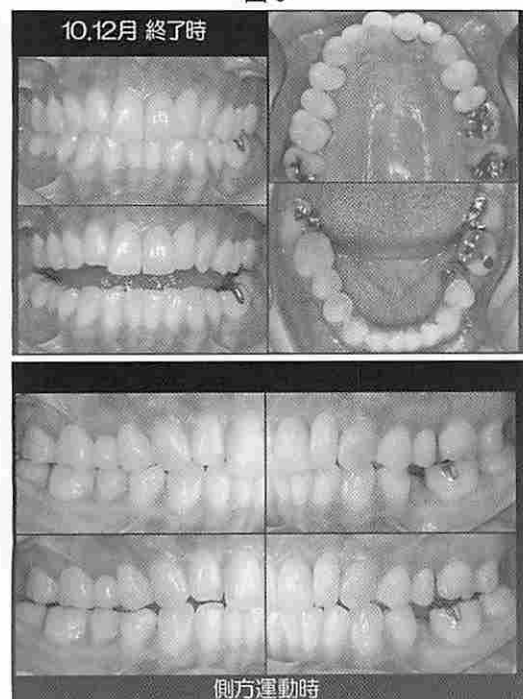


図10、11

術後の経過と考察

補綴治療の最大の目標は咬頭嵌合位の安定にあると考えています。数本の補綴治療で、他の歯牙により咬頭嵌合位が安定している場合は、何も考えずその位置にて補綴処置を行えばよいと思いますが、多数歯にわたり補綴処置が必要な場合は、顎頭安定位を模索し咬頭嵌合位を構築していかななくてはなりません。今回のケースでは初診時に咬頭嵌合位が不安定で、患者からどこで咬んでいいかわからないとの訴えがありました。また、COとCRのズレを認め、幸いに不良な補綴物が多かったことから、下顎位の修正

は容易であったと思われます。これがほとんどの歯牙が無切削の天然歯であった場合は、患者の訴えと歯牙割合を天秤にかけて判断することになるでしょう。

現在、術後約半年ですのでまだ何も分りませんが、下顎位を修正し安定した咬頭嵌合位を得ることができ、患者からはとても咬みやすくなったとの評価を頂きました。図12は前歯部のアン



図12

テリアカップリングの変化です。現在、犬歯より後方の歯牙は咬頭嵌合位にて咬合接触しており、中切歯も咬合紙が若干抵抗ありながら抜けるくらいまで調整してあります。

左下の5番に関しては患者がこの部分の矯正治療を望まなかったことと、それならば抜歯して前後の歯牙にて補綴処置を行ったほうが、術後のブラークコントロールが容易になると考えましたが、これも患者が外科処置をあまり好まれませんでしたのでそのポジションのまま治療を進めました。今後二次カリエスや歯牙の移動などにより咬頭嵌合位が不安定にならないか経過観察が必要と思われます。

今回のケースでは下顎位を修正しました。それに伴い咬合高径や咀嚼筋のバランスが若干変化しているものと思われます。今後はメンテナンスにより定期的にレントゲン撮影や口腔内写真撮影し、咬合干渉の有無や、歯牙の移動、二次カリエスなどの変化を、客観的な資料により観察していく必要があると考えております。

厚生委員会



- ①氏名
- ②開業場所・開業年数
- ③家族構成

- ④最近感動したこと、憤慨したこと
- ⑤委員会に所属しての感想
- ⑥趣味、特技、私のこだわり、など



- ①瀬井 知己
- ②麻生田 北部 3 17年
- ③妻、長女（小6）、長男（小1）
- ④・原発事故の鎮静化のため、力をつくしている原発作業員の方々
・東日本大震災を「天罰」と言い放った、どこかの知事が再選されたこと。
- ⑤中川理事の後をうけて、理事を拝命することになりました。厚生委員会に所属して早や15年になります。今後とも何卒よろしく願いいたします。
- ⑥楽しみは競馬ですが、最近、ギャンブル親父を見る娘の視線が厳しくて、かくれ？こっそりとしています。



- ①松田 恵
- ②川尻 12年
- ③妻、長男（高1）、長女（小6）
- ④感動）東日本大震災における日本人のマナーの良
さ、我慢強さ。
憤慨）それに対する政府、東電の対応。
- ⑤厚生委員になって12年、余り成長していない私が
ただ、年数が長いという事で、今回委員長になり
ました。まだ、未熟な私ですが、瀬井理事を精一
杯サポートしています。
- ⑥ゴルフ（へたな）
酒



- ①前田 邦治
- ②戸島西 東部3 10年
- ③父、母
- ④最近感動したこと：震災が起き世界中が日本の状
況に注目し温いメッセージが
送られているということ。
憤慨したこと：“東日本大震災”
大規模な震災がこの日本で起きた
ということ。
- ⑤多くの先生たちとの交流ができて、教わる事も多
く、感謝しております。
- ⑥趣味：ジムへ通う、音楽
特技：ピアノ



- ①嶋田 英敏
- ②中央 9年
- ③家内、子供3人
- ④4月15日米海軍イージス艦「オカーン」、SM-3を
用いた弾道ミサイル迎撃実験に成功。SM3ブロッ
ク1Aはヘッドオン迎撃でなら中距離弾道弾と交
戦可能と実証。北朝鮮のノドンどころか中国の東
風3を撃墜可能と知らしめました。
- ⑤わりと楽しいです。
- ⑥夜空で“リパルシン”のコアング効果を観察する事。



- ①長 忍
- ②島町 川尻 10年
- ③妻、長女（中2）、長男（小6）、次女（小4）
- ④感動：被災地の人々やボランティアの活動
憤慨：地震、原発に対する政府の対応
- ⑤3期目に入りますが、先々の皆様が楽しく親切に
して頂いております。毎回委員会の参加が楽しみ
です。



- ①秋山 清
- ②下通（銀座通り） 中央 8年
- ③妻（受付）
長女（青山学院、法学部2年）
次女（熊本歯科衛生士学院1年）
- ④カラーからの下りの8メートルのフックラインを
チップ、インした事。その前に池ポチャしていて
ボギーだった事。
緊張したこと…学院入学式にて父兄代表挨拶をした
時、足がガクガクしました。厳粛なムードは苦
手です。
- ⑤今回で3期目となります。パーティーでの余興で、
会員の皆様のお名前を確実に覚えるよう、暇な時
に名簿をながめています。
- ⑥平均80台を目指し、週一練習と月二ラウンドを続
けているゴルフに夢中。



- ①神崎 理子
- ②水前寺 東部2 3年
- ③父、母、自分
- ④感動したこと：東日本大震災において、全国各地
での支援の輪
憤慨したこと：義援金詐欺
- ⑤初めての参加ですが、諸先輩の先生の御指導の
もと、会員皆様の為に頑張りたいと思います。
- ⑥趣味、ゴルフ

社会保険委員会



①渡辺 洋

②花立 東部4 17年

③妻

長男（高2）、次女（小6）

長女（中2）、犬 チュロ三郎（ビーグル）

④何と言っても東北関東大震災、自然の力には人間はなすすべもない。一刻も早い復旧と、改善を祈るばかりです。

⑤会員であって良かったと1ミリでも1gでも思われる様に奔走致します。

⑥ゴルフ、野球、走ること、唐辛子、ビールです。



- ①金本 良久
- ②新大江 東部1 15年
- ③妻（4?才）、長女（高3）、次女（中2）、長男（小6）
- ④家族が元気で…平和なことに感謝。
日本が早く復興しますように！
- ⑤お役に立てるよう頑張りますので、どうぞよろしくをお願いします。
- ⑥バドミントンと走ること！



- ①井口 泰治
- ②若葉 東部4 18年
- ③妻、長女（高2）、次女（中3）、長男（小2）
- ④何かしらあったと思うんですが「東日本大震災」ですべてふっ飛んでしまった気がします。
- ⑤こんなに長くお世話になるとは思いもしませんでした。もうしばらく宜しくお願い致します。
- ⑥趣味はゴルフではなく、もちろん野球です。



- ①宇治 保義
- ②沼山津 東部4 13年
- ③妻（58才）
長女（28才）
次女（24才）
- ④3・11の震災以来、心が痛むばかりで。
- ⑤保険点数について知らない、わからないことばかりで大変勉強になります。
- ⑥この1年芝桜の苗を大事に手入れしてきたら、この春予想以上にたくさん花が咲いて嬉しいです。



①栗原 健一

②新町 西部 5年

③妻（37才）、長男（小3）、次男（小1）、三男（年長）

④最近感動したこと：パソコンをマックブックプロに変え、使いやすさに少し感動しました。

憤慨したこと：チクチク嫌な事は多いのですが憤慨する程の事はありません。

⑤保険のルールは難しいので今でも会員の先生方から御質問を頂いた際に青本をみて委員長先生に確認し御返事するようにしています。

⑥子供が柔道を始めましたので一緒にするのが趣味です。



①西山 挙規

②高平 北部1 5年目

③妻、娘、母

④感動したこと：1才6ヶ月の娘が、初めて「カンバイ」と言った事

憤慨したこと：まだ5月なのに蚊に刺された事

⑤勉強しなきゃいけないあとつくづく感じました。

⑥最近魚釣りを始めました。

学 術 委 員 会



①小野 秀樹

②御領 東部3 14年

③妻、長男（高3）、長女（中3）

④年のせいで丸くなったのか、鈍感になったのか激怒することが少なくなりました。それでも、原発について必要性和リスクを真剣に議論してこなかった私を含む日本人に憤慨し、反省しています。感動ではありませんが、震災にあたり、唯一自己完結型の災害支援の出来る自衛隊、危険を顧みず活動する、消防官、警察官などの公務員に、まだまだ日本も捨てたもんじゃないと心を打たれました。

⑤学術委員会に所属し5期目、理事2期目となりました。委員の先生は頼もしいメンバーで助けてもらっています。みんなで知恵を絞り、今期も多くの会員の先生方に聞いていただける講演会を目指したいと思います。

⑥テニス、スノーボード、他野外活動

今年の夏、ひょんなことから富士登山に級友と挑戦します。山登りは30年ぶりで、熊本近隣の山に週末日帰りでチャレンジしています。



①大塚 昭彦

②麻生田 北部 3 10年

③妻、長女（中1）、長男（小2）、次男（年少）

④震災のニュースや記事で、懸命にがんばっている人達を見ると、涙がでできます。

一方、国の予算の使い方を決めるのは、本当に難しいと思いますが、もう少し、スピーディーになんとかならないのか？と思います。

⑤いい加減、もう少し役に立てるようになろうと思っていますが、まだまだ甘い自分がいます。委員会の先生方と話をすると、モチベーションが上がります。

⑥サッカー、息子にリフティングで負けない様に、こそと練習中。



①村上 慶

②城山大塘 小島 8年

③妻と子供一人

④感動：日本の災害に対し、世界から義援金が集まり、世界中の人が日本の復興を願っていると感じたとき。

⑤力不足ですが、楽しくやらせてもらっています。

⑥あまり特技はありませんが、英会話は少し自信あります。

最近、ジムでメタボ対策してます。ゴルフをようやく始める予定です。



①関 光輝

②二本木 南部 7年

③パパ、長女（9歳）、長男（7歳）

④子供達の成長、親としての成長、診療、ゴルフを通していろいろな人と繋がりができること、なかなか100切れないこと…毎日、感動したり怒ったり、楽しく過ごしています。

⑤3期目になりました。いまだに学術っぽくないと言われます（笑）今期も微力ながら小野理事をサポートしていきたいと思っています。

⑥趣味：ゴルフ

特技：洗濯

こだわり：青色



①入佐 弘介

②八景水谷 北部3 4年

③妻・長女（10歳）・長男（7歳）

④東北地方太平洋沖地震の時でも、規則を守り、譲り合いの精神で行動をしている人々をみて感動しました。

⑤今回で2期目になりました。勉強熱心な先輩たちに今期も学ばせてもらいます。よろしくお願いします。

⑥今年から家庭菜園を始めようと勉強中です。



①山口 英司

②新外 東部3 5年

③妻、長男（7歳）、家族でテニスをしています。

④子供のテニスが上達したこと。

原発の政府の対応。

⑤2期目なので少しは上の先生方のお役に立ちたい。

⑥趣味：テニス。最近は家族で盛り上がってます。



①清水 幹広

②植木町広住 北部3 15年

③妻

子供（3人）小6、小3、幼稚園児（3姉妹）

④震災後、被災地は灯油、ガス、電気のない凍える日々を強いられてきた。同じ日本にあってここでは何不自由なく当たりまえのように暮らしている。この天災による理不尽さにやりきれない気持ちと申し訳ない気がする。

⑤移管したばかりで市のことはまだよく分かりませんが、お役に立てればと思います。よろしくお願いします。

⑥バイク、釣り

合併により熊本市に移管された先生方

植木



河上 正 ✓



田中 聖一



牧 正仁 ✓



工藤 隆弘 ✓



藤岡 憲昭



中嶋 隆志



温 永智 ~



境 義紹



添田 誠也



清水 幹広



勇 雄大 ✓

城南



本田 治夫



水野 完治



河野 生司 ✓



川瀬 博美 ✓



栃原 宏治



西山 英二

新人です！よろしくお願ひします

新 入 会 員 紹 介



氏 名 藤 洋藏

診療所名 くるみ歯科

(診療所) 〒862-0959

熊本市白山3丁目1-4 ウインディビル1F

電話／096-373-0655 FAX／096-373-0677

(自宅) 〒862-0972

熊本市新大江1丁目18-20 コアマンション大江1103号

生年月日 昭和34年4月19日

趣 味 PC

好きな言葉 和

経 歴 九州学院

日本歯科大学新潟歯学部 S61年卒

東京医科歯科大学第2補綴科3年間勤務

あだち歯科医院3年間勤務

池田歯科医院5年間勤務



氏 名 中嶋 充生

診療所名 中嶋安田歯科医院

(診療所) 〒860-0085

熊本市高平3丁目11-58

電話／096-223-5071 FAX／096-223-5072

(自宅) 〒860-0863

熊本市坪井6-31-10 クレセール坪井303

生年月日 昭和37年2月16日

趣 味 ビールを飲むこと

好きな言葉

経 歴 熊本県立人吉高等学校

鹿児島大学歯学部 S61年卒

熊本市民病院 1年間勤務

NTT西日本九州病院7.5年間勤務



氏 名 やまだ 宗敬
 診療所名 やまだ歯科
 (診療所) 〒862-0963
 熊本市出仲間 7 丁目1-36
 電話／096-370-4618 FAX／096-370-4618
 (自宅) 同上
 生年月日 昭和51年 1 月 9 日
 趣 味 作詞作曲・ギター演奏
 好きな言葉 成せば成る
 経 歴 常磐高等学校
 広島大学 H13年卒
 竹中歯科医院 4 年間勤務
 新地ハロー歯科診療所
 ドリーム歯科クリニック 2 年間勤務



氏 名 うと かずとし
 診療所名 うとデンタルクリニック
 (診療所) 〒860-0006 熊本市段山本町
 電 話／096-326-7222 F A X／096-326-7221
 (自宅) 〒860-0833 熊本市平成 1 丁目5-11-202
 電 話／096-328-3197 F A X／096-328-3197
 生年月日 昭和48年12月30日
 趣 味 育児
 好きな言葉 報恩謝徳
 経 歴 熊本高校
 長崎大学 H11年卒
 中原歯科医院11年間勤務



氏 名 ふくだ はやと 福田 勇人

診療所名 ふくだ歯科クリニック

(診療所) 〒861-4100 熊本市富合町三拾町207-2

電 話 / 096-223-5118 F A X / 096-223-5117

(自宅) 〒869-0412 宇土市岩古曾町2302-1

電 話 / 0964-27-8225

生年月日 昭和57年 1 月22日

趣 味 釣り、卓球

好きな言葉 有言実行

経 歴 東筑紫学園高等学校 (福岡県私立)

九州歯科大学 H18年卒

九州歯科大学総合歯科臨床研修医として1年間勤務

医)あゆみ会中原デンタルクリニック病院4年間勤務



氏 名 もりの しげる 森野 茂

診療所名 もりの歯科クリニック

(診療所) 〒860-0082 熊本市池田2-1-82

電 話 / 096-352-8241 F A X / 096-352-8242

(自宅) 〒860-0082 熊本市池田2-1-82

電 話 / 096-352-8243 F A X / 096-352-8243

生年月日 昭和49年 4 月24日

趣 味 旅行、ゴルフ、マリンスポーツ

好きな言葉 千里の道も一歩から

経 歴 私立弘学館高等学校

九州歯科大学 H12年卒

熊本大学歯科口腔外科4年間勤務

西村歯科医院3年間勤務

たかた歯科医院2年間勤務



氏 名 さかなし ひでみつ 坂梨 秀光

診療所名 坂梨歯科医院

(診療所) 〒862-0975 熊本市新屋敷 2 丁目17-19

電 話／096-366-1811 F A X／096-366-1811

(自宅) 〒862-0975 熊本市新屋敷 2 丁目17-19

電 話／096-366-1811 F A X／096-366-1811

生年月日 昭和36年 5 月10日

趣 味 お酒、食べ歩き

好きな言葉 一生は大夢の如し

経 歴 鎮西学園真和高等学校

城西歯科大学 S 60年卒

中根歯科医院 2 年間勤務

砥用病院 2 年間勤務

坂梨歯科医院11年勤務

百問歯科医院 2 年間勤務

尾ノ上河端歯科医院 2 年勤務

アップル歯科医院 1 年勤務



氏 名 げっせい ひでかず 月精 秀和

診療所名 大江歯科医院

(診療所) 〒862-0971 熊本市大江1-20-20

電 話／096-362-7332 F A X／096-362-7332

(自宅) 〒862-0970 熊本市渡鹿1-14-14 レジデンス高原1F

電 話／096-364-5571 F A X／096-364-5571

生年月日 昭和49年10月16日

趣 味 ネットサーフィン、熱帯魚、音楽、ギター

好きな言葉 鶏口牛後

経 歴 鹿児島県立甲南高等学校

鹿児島大学 H13年卒

ひがし歯科医院 2 年間勤務

中村歯科クリニック 5 年間勤務

岡本右近歯科 1 年間勤務



スポーツの広場



あつまるデンタル・ゴルフ会

平成23年 1月16日

16名

		OUT	IN	GRO	HP	NET
優勝	奈良 健一	45	45	90	17	73
2位	北川 隆之	44	40	84	10	74
3位	河野 敬明	49	51	100	21	79
4位	大森 秀則	54	50	104	25	79
5位	関 剛一	50	52	102	22	80
B.B.	本田 治夫	57	57	114	27	87

平成23年 2月20日

14名

		OUT	IN	GRO	HP	NET
優勝	浜坂浩一郎	45	50	95	25	70
2位	本田 治夫	50	49	99	27	72
3位	北川 隆之	42	41	83	10	73
4位	河合 隆一	44	47	91	17	74
5位	宮崎 幸一	48	43	91	16	75
B.B.	河野 敬明	54	52	106	21	85

平成23年 3月13日

13名

		OUT	IN	GRO	HP	NET
優勝	古賀 明	43	44	87	19	68
2位	本田 治夫	51	46	97	27	70
3位	田村 実雄	49	46	95	23	72
4位	河野 敬明	49	44	93	21	72
5位	宮崎 幸一	47	42	89	16	73
B.B.	浜坂浩一郎	58	56	114	23	91

空港デンタル

平成23年 3月27日

		OUT	IN	GRO	HP	NET
優勝	本田 亘	51	46	97	30.6	66.4
準優	甲斐 利博	42	43	85	16.9	68.1
3位	三笥 司	42	43	85	13.7	71.3
4位	松本 光示	38	43	81	8.7	72.3
5位	渡辺 博	42	39	81	7.2	73.8
6位	稲葉 逸郎	42	43	85	10.1	74.9
7位	工藤 隆弘	46	48	94	18.3	75.7
8位	神戸 威	51	56	107	29.5	77.5
9位	添島 正和	50	51	101	20.7	80.3



会 務 報 告

理 事 会

月 日	協 議 題
2月18日	会務・会計・庶務報告
3月23日	会務・会計・庶務報告
4月21日	会務・会計・庶務報告

学 術 委 員 会

月 日	協 議 題
1月22日	平成22年度学術特別講演会
2月10日	学術講演会反省会
4月14日	委員会事業計画について

社 保 委 員 会

月 日	協 議 題
2月16日	平成22年度の反省点について 社保説明会の打合せ
3月16日	社保委員説明会の打合せ
4月15日	年間の活動方針について

学 校 歯 科 委 員 会

月 日	協 議 題
2月26日	学校歯科理事会報告 熊本小児保健研究会 日本銀行熊本支店企業健診 合同委員会
3月11日	衛生士会との会合、懇親会 福井県「歯科健康教室の達人ver 2」 合同委員会
4月14日	「委嘱状」渡し 写真撮影 歯磨き巡回指導（23年度）計画 学校保健会、理事

地 域 保 健 委 員 会

月 日	協 議 題
2月17日	歯の祭典講演打ち合わせ
3月10日	歯の祭典講演打ち合わせ
4月8日	歯の祭典チラシ検討

厚生委員会

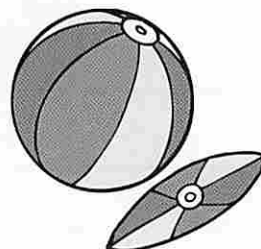
月 日	協 議 題
2月22日 4月15日	新年パーティー反省会 年間行事予定確認

広報委員会

月 日	協 議 題
2月7日 2月21日 2月25日 3月9日 3月17日 4月14日	中岳152号レイアウト 対外広報誌打ち合わせ 中岳152号1校 中岳152号2校 対外広報誌編集 対外広報誌歯っぴい通信編集 新年度スケジュール確認 対外広報誌5校

医療管理委員会

月 日	協 議 題
2月22日 3月11日 3月25日 4月14日	平成23年度版カレンダー製作 半田印刷と打ち合わせ 汎用電話連絡表打ち合わせ 医療相談について 年間予定について 保健所立ち入り検査について 消火器点検 地震保険など 中岳原稿について



総会資料

1. 会務報告

平成22年5月～平成23年1月末現在

理事会 月1回開催（H22.5/25、6/18、7/23、8/19、9/24、10/25、11/29、12/14、H23.1/25）
会務報告
総務報告、各委員会事業報告及び計画、臨時委員会事業報告及び計画
庶務報告
会計現況報告
協議

常務理事会 月1回開催（H22.5/24、6/16、7/22、8/18、9/21、10/20、11/26、12/13、H23.1/20）
会務全般にわたり協議

総 務

〈対内〉

- ・植木町での本会事業説明会（5/14）、懇談会（10/27）
- ・支部長会（5/18、1/14）
- ・定款見直しに関する県庁訪問（5/24、7/9、9/8）
- ・伊東隆利先生“平成21年度日本歯科医学会会長賞受賞・新スタンダード歯科小手術出版記念祝賀会”（5/29）
- ・監査（6/15）
- ・議長・副議長との打合せ（6/24）
- ・市歯代議員会（6/28）、総会（6/29）
- ・新入会員対象オリエンテーション（7/3）
- ・介護認定審査会委員との意見交換会（7/6）
- ・特例民法法人実務研修会（9/17）
- ・全国公益法人協会公益法人定例講座（10/7）
- ・公益法人会計に関する話合い（10/7）
- ・熊本県歯科衛生士会との話合い（11/15）
- ・城南町への本会事業説明会（11/15）
- ・新定款検討会（11/16）
- ・定款検討臨時委員会答申（11/29）
- ・支部会 北部1支部（12/16）、東部1支部（12/22）、小島支部（1/13）、中央支部（1/14）、東部3支部（1/15）、南部支部（1/29）
- ・定款諸規則の見直し（12/27）
- ・年始挨拶廻り（1/4）
- ・熊本西税務署源泉所得税調査（1/19～21）
- ・会員向け新定款説明会（1/27）

〈公益〉

行政関係・熊本市社会福祉審議会身体障害者福祉専門分科会審査部会（5/11、7/6、9/7、11/2、

1/18)

- ・ねんりんピック2011（ふれ愛）熊本第1回総会及び第1回運営委員会（5/18）
- ・歯っぴーかむカムひごまる協議会実行委員会（5/18）
- ・熊本市CKD対策推進会議（5/20）
- ・健康くまもと21推進市民会議世話人会（5/21、6/17、9/16、10/21、11/18、12/17）
- ・熊本市要保護児童対策地域協議会代表者会議（5/25）
- ・熊本市人権啓発市民協議会理事会・総会（5/25）
- ・社会福祉法人熊本市社会福祉事業団理事会（5/27、12/20）
- ・熊本市8020健康づくりの会総会（5/28）
- ・健康くまもと21総会（5/29）
- ・熊本市健康危機管理連絡会議（5/31）
- ・熊本市国民健康保険運営協議会（7/7）
- ・熊本市救急災害医療協議会（7/9、12/1）
- ・熊本市歯科保健推進協議会（8/23、1/17）
- ・熊本市社会福祉審議会（8/26）
- ・熊本市保健協議会委員総会（9/14）
- ・平成22年度介護認定審査会委員研修（10/13）
- ・熊本市歯科保健推進協議会における検討委員会（10/14、12/13）
- ・人権・ふれあいフェスタ2010（10/23）
- ・人権啓発作品表彰式（12/4）
- ・通所型介護予防事業の意見交換会（1/14）
- ・平成22年度市町村国保運営協議会委員並びに国保主管課長等合同研修会（1/26）
- ・熊本市地域包括支援センター運営協議会（1/28）

地域歯科保健関係

- ・「2010歯の祭典」全体会議（5/14）
- ・シティエフエム出演（6/2・9、9/22・29、11/17・24）
- ・一斉無料歯科健診（6/4～10）
- ・平成22年度歯の衛生週間「2010歯の祭典」「ウェルパルクまもと」（6/6）
- ・医療・福祉・子育て機関（医商連携）との連携による次世代型まちづくり事業委員会（6/9）
- ・池上校区第4町内“口腔ケアで元気な毎日”講演（7/8）
- ・「2010歯の祭典」反省会（7/9）
- ・いきいき未来のつどい実行委員会（7/21、9/15、11/17、1/13）
- ・ふる里龍田の夏まつりでの歯科相談（8/1）
- ・母乳とう蝕に関する市民向け講演会（9/5）
- ・第34回健康教室講座 開講式（9/7）、講演（9/28）、閉講式（10/26）
- ・第3回帯山地域健康フェスタでの歯科相談（9/26）
- ・熊本市平成学園へいせいふれあい祭（10/23）
- ・平成22年度熊本市民健康フェスティバル 開会式（10/30）、閉会式（10/31）
- ・平成22年度8020表彰式（10/30）
- ・健軍商店街“健軍・農村地域間交流フェスティバル&健康フェア”（11/21）

保健・医療関連諸団体

- ・済生会熊本病院地域医療支援病院運営委員会（5/12、8/25、11/10）
- ・熊本県保険医協会第35回定期総会・懇親会（5/22）
- ・日本歯科保存学会2010年度春季学術大会会員懇親会（6/3）
- ・熊本市保健医療専門団体連合会理事会（6/14）
- ・医歯連携セミナー熊本有病者歯科医療研究会（6/17）
- ・各郡市歯科医師会会長・専務理事連絡協議会（6/19、12/4）
- ・三歯会（6/23）
- ・平成22年度熊本市医師会定例総会懇親会（6/26）
- ・各郡市社会保険担当者会議（6/26）
- ・国立病院機構熊本医療センターとの協議会（7/8、1/6）
- ・熊本市保健医療専門団体連合会第29回代議員会（7/16）
- ・熊本市地域リハビリテーション協議会委員総会（7/29）
- ・熊本市民健康フェスティバル総務部会（7/30）
- ・豊田大徳先生叙勲受章記念祝賀会（8/6）
- ・国立病院機構熊本医療センター臨床口腔外科講演会（8/20）
- ・国立病院機構熊本医療センター開放型病院連絡会「パレア」（9/2）
- ・熊本大学医学部付属病院病棟完成記念式・祝賀会（9/4）
- ・朝日野総合病院創立30周年祝賀会（9/8）
- ・自衛隊熊本病院創立53周年祝賀会（9/18）
- ・第29回九州八市歯科医師会役員連絡協議会（10/15）
- ・国立病院機構熊本医療センター地域医療支援病院運営委員会（10/21）
- ・医専連シンポジウム（10/23）
- ・第13回熊本市入院入所者歯科診療運営委員会（10/26）
- ・熊本有病者歯科医療研究会運営委員会（11/8）
- ・熊本市薬剤師会救急医療功労者厚生労働大臣表彰受章披露祝賀会（11/13）

〈医政関係〉

- ・参議院選候補者への推薦状渡し（6/8）
- ・松村祥史出陣式（6/24）
- ・松野頼久さんの活動報告会（7/1）
- ・本田浩一候補推薦団体会議（7/2）
- ・参議院選候補者陣中見舞い（7/2）
- ・野田たけし後援会緊急幹部会（7/7）
- ・藤川たかお後援会のつどい（8/23）
- ・幸山政史総決起大会（10/30）
- ・市議会議員嶋田幾雄総務大臣表彰受章祝賀会（11/1）
- ・幸山政史選挙事務所陣中見舞い（11/2）
- ・松野頼久さんの国政報告会（12/4）
- ・藤川たかおさんへの推薦状渡し（12/21）
- ・藤川たかお後援会事務所開所式（1/15）
- ・民主党熊本県連「2011新春・賀詞交歓会」（1/22）

厚生委員会

第34回熊本市歯科医師会親睦ビアパーティー「ホテルニューオータニ熊本」109名（7/3）
平成22年度健康診断「県歯会館」会員 199名、家族・従業員 869名（9/6・7・8・9・10）
第13回熊本市入院入所者歯科診療運営委員会（10/26）
熊本市民健康フェスティバル出務「くまもと県民交流館パレア・鶴屋ホール」（10/30・31）
平成23年度熊本市歯科医師会新年懇親パーティー「ホテルニュースカイ」127名（1/22）

地域保健委員会

「2010歯の祭典」第2回全体会議（5/14）
市役所訪問（5/17・18）
熊本市子ども文化会館での無料歯科健診「歯っぴーキッズ」（5/23）
在宅サービス手引書編集委員会（5/28）
シティエフエム出演（6/2）
一斉無料歯科健診（6/4～10）
平成22年度歯の衛生週間「2010歯の祭典」「ウェルパルクまもと」（6/6）
平成22年度“熊本さわやか大学校”講演（6/17）
熊本市民健康フェスティバル企画準備委員会（6/18、7/12）
三歯会（6/23）
介護認定審査会委員との意見交換会（7/6）
「2010歯の祭典」反省会（7/9）
「歯っぴーキッズ」の実施状況報告会議（7/14）
「8020支援事業」ワーキング委員会（9/14・28）
平成22年度「8020表彰事業」及び「歯たちの健診事業」打合せ会議（9/15）
TKU「子育てすくすく☆こども博2010」（9/19）
第3回帯山地域健康フェスタでの歯科相談（9/26）
第34回健康教室講座講演（9/28）
熊本市民健康フェスティバル運営委員会（10/15）
歯たちの健診事業「学園祭での無料健診」熊本保健科学大学（10/16）
九州中央リハビリテーション学院（11/3）
熊本市民健康フェスティバル出務「くまもと県民交流館パレア・鶴屋ホール」（10/30・31）
熊本県歯科衛生士会との話し合い（11/15）

学術委員会

幸田公民館での教養講演（6/20）
第13回熊本市入院入所者歯科診療運営委員会（10/26）

- ・中岳スタディー原稿調整
- ・中岳学術講演会原稿作成
- ・臨床Q&A作成（毎月）
- ・本会ホームページ更新、維持管理（毎月）
- ・ネットサポートによる会員連絡網の構築

○平成22年度第1回学術講演会
日時：平成22年5月22日（土） 午後3時より「熊本県歯科医師会館 3階市会議室」

演題：薬剤の適正使用を極める『歯科領域における薬剤の使い方』

講師：熊本大学医学部附属病院 歯科口腔外科医局 教授 篠原正徳先生

○平成22年度第2回学術講演会

日時：平成22年7月10日(土) 午後3時より「熊本県歯科医師会館 3階市会議室」

演題：『高齢者の義歯とケア』

講師：東北大学大学院歯学研究科教授、広島大学名誉教授 濱田泰三先生

○平成22年度第3回学術講演会

日時：平成22年9月4日(土) 午後2時半より「熊本県歯科医師会館 4階ホール」

演題：『現在の歯周治療・インプラント治療の到達点』

講師：金沢市開業 船登彰芳先生

○平成22年度第4回学術講演会

日時：平成22年9月29日(水) 午後8時より「熊本県歯科医師会館 3階市会議室」

演題：『ルーチン胃内視鏡検査で発見した口腔・咽頭病変の検討』

講師：山鹿中央病院 消化器科 木庭郁朗先生

○平成22年度熊本市歯科医師会学術特別講演会及び会員発表会

日時：平成23年度1月22日(土) 午後2時半より「熊本県歯科医師会館 3階市会議室」

演題：『有病者の口腔疾患治療時における対応と処置について』

講師：熊本大学医学部附属病院 歯科口腔外科医局 教授 篠原正徳先生

『歯牙移植の有効性を再検討する』 本会会員 高木雅子先生

『早期荷重プロトコールに基づいたインプラントのよる咬合再構成』

本会会員 添島義樹先生

『歯根破折歯の再植法について』 本会会員 木村浩幸先生

『小児への対応法としての局所麻酔について』 本会会員 逢坂亘彦先生

『長期経過症例から治療の妥当性を検証する』 本会会員 添島正和先生

学校歯科委員会

熊本市学校保健会理事会(5/28、10/14、1/20)

平成22年度歯磨き巡回指導(前期)「歯と口の健康教室」

(6/1・2・4・8・9・11・15・18・22・25・30)

熊本県学校歯科保健推進大会(6/12)

三歯会(6/23)

熊本市学校保健合同研修会(6/24)

熊本市要保護児童対策地域協議会実務者会議(6/25、1/31)

熊本市エイズ総合対策推進会議(8/20)

熊本県学校保健研究協議大会(8/29)

熊本市子どもの歯科保健推進ネットワーク連絡会(9/22)

託麻北小学校での歯科保健指導(9/24)

学校歯科研修会(10/23)

熊本市健康フェスティバル出務「くまもと県民交流館パレア・鶴屋ホール」(10/30・31)

平成22年度歯磨き巡回指導(後期)「歯と口の健康教室」(11/2・5・9・10・12・16)

熊本県歯科衛生士会との話し合い(11/15)

健軍商店街「健軍・農村地域間交流フェスティバル&健康フェア」(11/21)

シティエフエム出演（11/24）
学齢期歯科保健推進説明会（12/2）
熊本県障がい者（児）歯科保健協議会（1/15）
各郡市学校歯科担当者会議（1/29）
・企業健診の案内
・学校歯科医変更

広報委員会

三歯会（6/23）
熊本市民健康フェスティバル出務「くまもと県民交流館パレア・鶴屋ホール」（10/30・31）
シティエフエム出演（11/17）
・中岳149、150、151号発行（6月、9月、12月）
・かわら版各月発行
・本会主催事業、取材

医療管理委員会

スタッフレベルアップセミナー「衛生士学院研修室」（5/29）
日本歯科医療管理学会九州支部研修セミナー（6/13）
医歯連携セミナー熊本有病者歯科医療研究会（6/17）
三歯会（6/23）
国立病院機構熊本医療センターとの協議会（7/8、1/6）
各郡市歯科医師会医療相談担当者会議（7/24）
医療苦情について県警との懇親会（8/11、10/21）
国立病院機構熊本医療センター開放型病院連絡会「パレア」（9/2）
熊本有病者歯科医療研究会運営委員会（11/8）
救急蘇生法講習会「国立病院機構熊本医療センター地域医療研修センター」（11/11）
日本歯科医療管理学会九州支部総会・学術大会（11/14）
・放射線漏洩測定器の各支部貸出し管理
・平成23年度税務カレンダー編集・作成
・広告規制に対する対応
◇医療相談委員会 H22.2月～H23.1月 相談件数 33件

社会保険委員会

各郡市社会保険担当者会議（6/26）
新入会員対象オリエンテーション（7/3）
熊本市民健康フェスティバル出務「くまもと県民交流館パレア・鶴屋ホール」（10/30・31）
新入会員を対象とした保険請求に関する説明会（11/19）
東部3支部会（1/15）
・新入会員対象オリエンテーションの準備
・レセプトオンライン化への対応
・電子レセプト請求への対応
・会員の電子請求及び免除・猶予届願提出の確認作業

- ・新規個別指導対象者への説明会準備
- ・平成22年度個別指導の結果と今後の対応について
- ・返戻、査定に対する検討
- ・正しい算定方法とカルテ記載についての勉強会
- ・県歯社保委員会との連携

熊本市歯科保健推進事業部会

企業健診推進部会

H22.5月～H22.12月 熊本市妊婦歯科健診事業 健診者数 524名

H22.4月～H22.12月 熊本市通所型介護予防事業 18診療所、対象者数 23名

介護認定審査会

長美智恵（5/19、6/2・16、7/7・21、8/4・18、9/1・15、10/6・20、11/17、
12/1・15、H23.1/5・19）

蔵本和咲（5/12・26、6/9・23、7/14・28、8/11・25、9/22、10/13・27、11/10・
24、12/8・22、H23.1/12・26）

田中俊憲（5/19、6/2・16・30、7/1・15、8/4・18、9/1・15、10/6・20、
11/17、12/1・15、H23.1/5・19）

関 剛一（5/17・31、6/7・21、7/5・26、8/16、9/6・27、10/4・18、11/
1・15、12/6・20、H23.1/17）

臨時委員会

定款検討臨時委員会（5/11、6/22、7/27、8/25、9/27、10/22）

特別委員会

選挙管理委員会（1/12）

医道委員会

入会申し込み時、月1回開催

入会申込者 1名

磯野誠一（9/15）

2. 庶務報告

平成22年5月～平成23年1月末現在

1. 現在会員数 351名

一般会員	287名
親子会員	6名
終身会員	47名
特別勤務会員	0名
特別会員	11名
勤務会員	0名

2. 入会者

H22. 9. 27 磯野 誠一 熊本市月出2-1-39-1F 東部 3

3. 物故者

H22. 10. 2 添島 義和 熊本市桜町1-28-205 中央
 H22. 11. 2 鶴田 実馬 ♪ 新生2-6-8 東部 4
 H22. 12. 27 下村 敏朗 ♪ 琴平本町12-9 南部

4. 退会者

H22. 7. 31 吉井 洋一 熊本市水道町13-10-201 中央
 H22. 9. 30 御任 弘玄 ♪ 下通1-2-1 中央
 H22. 11. 11 坂口 貴章 ♪ 帯山3-29-15 東部 3

5. 代表歯科医変更

H22. 12. 14 福井偉功人 → 寺島 貴史 (翼ハロー歯科診療所) 東部 2

平成23年度熊本市歯科医師会事業計画

総 務

1. 医療・保健・福祉制度への対応
2. 関係諸機関との連携
3. 歯科保健施策の推進
4. 8020達成事業の推進
5. 歯科用品商組合との協議会
6. 有病者歯科医療研究会への対応
7. 新入会員オリエンテーション事業
8. 熊本市民健康フェスティバルへの対応
9. 会員対内連絡網の構築
10. 法人改革へ向けての取組み
11. 熊本市の合併及び政令市への対応

厚生委員会

1. 熊本市人権啓発市民協議会への対応
2. 第35回熊本市歯科医師会親睦大会の開催
3. 平成24年熊本市歯科医師会新年懇親パーティー開催
4. 会員、家族、スタッフの健康診断
5. 入院入所者歯科診療の集計
6. 熊本市医師会との検討協議会（入院入所者運営委員会）
7. 代診派遣制度の管理

地域保健委員会

1. 歯の衛生週間行事
 - ①歯の祭典
 - ②全会員診療所での無料歯科健診
 - ③子ども文化会館での無料歯科相談（歯っぴーキッズ）
2. 熊本市立幼稚園フッ素洗口事業（年1回指導）
3. 健康教室講座講演出務
4. 健康教室講座フェスティバル出務（同時に8020表彰）
5. 三歯会出務
6. 大学学園祭での無料歯科健診及び相談（歯たちの健診）

7. T K U「子育てすくすく☆こども博2011」出務
8. K K T「子育て応援団すこやか2012」出務

学術委員会

1. 学術講演会
2. 臨床Q & A作成
3. 中岳原稿調整（study）
4. 本会ホームページ維持管理
5. 会員対内連絡網の構築
6. 学童期フッ素洗口事業

学校歯科委員会

1. 熊本市学校保健会歯科部としての活動並びに協力参加
2. 熊本県学校保健研究協議大会への参加
3. 熊本小児保健研究会、熊本市エイズ総合対策推進会議出務
4. 熊本市要保護児童対策地域協議会実務者会議への対応
5. 子どもの歯科保健推進連携事業会議への対応
6. 熊本市立小学校での歯磨き巡回指導
7. 熊本市立保育園、幼稚園、小・中・高等学校の園医、校医の推薦
8. 歯の衛生週間の期間、ビデオ・DVD等の貸出
9. 学校歯科医の研修
10. 企業健診の案内
11. 学童期フッ素洗口事業

広報委員会

1. 「中岳」年4回発行（6、9、12、3月）
2. 「かわら版」各月発行（年12回）
3. 市歯会主催各行事取材
4. 対外広報誌作成

医療管理委員会

1. スタッフ研修セミナー
 - ・スタッフレベルアップセミナー（講義・実習）〔5月〕
 - ・スタッフ対象講演会
2. 三歯会
3. 救急蘇生法講習会（国立病院機構熊本医療センターと共催）
〔11月〕
4. 国立病院機構熊本医療センターでの口腔ケア研修会運営事業
5. 後方支援病院への挨拶廻り
6. 医療相談
7. カレンダー作成
8. 労務・歯科医療管理経営研修会
9. その他
 - ①院内掲示ポスター類の更新及び新製
 - ②国立病院機構熊本医療センター開放型病院への対応及び医療連携の検討
 - ・協議会〔7月、1月〕
 - ・連絡会〔9月、2月〕
 - ③放射線漏洩測定器の支部貸出、管理〔6月より〕

④医療管理学会対応

⑤有病者歯科医療研究会への対応

社保委員会

1. 県社保委員会及び理事との緊密な連絡と協議
2. 社保関連諸会議、研修会への出務と協力
3. 保険診療、請求事務に対する研究と対応
4. 疑義解釈の改正に対する迅速な対応と説明会の開催
5. 点数改正及び保険診療に関する説明会、講習会の開催
6. レセプト返戻等に対する質疑応答
7. 被保険者からの苦情、質問等への対応
8. 支部別社保担当者との会議および支部別の社保説明会
9. 会員へのカルテ記載等の個別相談への出務
10. 緊急社保勉強会への対応
11. 介護保険改正への対応及び対策
12. かわら版 青本の勉強会作成
13. レセプトオンライン化への対応
14. 新入会員オリエンテーション事業

第2号議案

平成23年度熊本市歯科医師会一般会計収入支出予算

款	項	目	科	目	予算額	前年度予算額	増	減	備	考
I 事業活動収支の部										
i. 事業活動収入										
1			基本財産運用収入		55,000	63,000		8,000		
	1		預金利子		55,000	63,000		8,000		
2			入会金収入		8,000,000	8,000,000				
3			会費収入		28,104,560	28,623,000		518,440		
	1		均等割		17,500,000	17,774,000		274,000		月4,500円
	2		保険診療負担金		10,603,560	10,848,000		244,440		保険診療収入の1,000分の1
	3		過年度会費		1,000	1,000				前年度未納者
4			事業収入		7,854,000	8,067,000		213,000		
	1		健診料収入		1,520,000	1,091,000	429,000			妊婦歯科健診・企業健診
	2		委託料収入		6,334,000	6,976,000		642,000		就学時健診・休日診療・介護予防事業
5			補助金等収入		4,240,000	4,200,000	40,000			
	1		県歯より事業助成金		3,590,000	3,600,000		10,000		会員1人あたり10,000円位
	2		補助金収入		650,000	600,000	50,000			歯の衛生週間・国保組合補助金
6			雑収入		15,000	21,000		6,000		
	1		預金利子		1,000	1,000				
	2		雑入		14,000	20,000		6,000		コピー代等
事業活動収入合計（A）					48,268,560	48,974,000		705,440		
ii. 事業活動支出										
1			事業費支出		33,563,800	34,303,000		739,200		
	1		委員会支出		15,282,000	15,402,000		120,000		
		1	学術委員会費		1,793,000	1,403,000	390,000			
		2	地域保健委員会費		1,145,000	1,328,000		183,000		
		3	社会保険委員会費		1,649,000	1,786,000		137,000		
		4	医療管理委員会費		2,246,000	2,085,000	161,000			
		5	広報委員会費		2,402,000	2,432,000		30,000		
		6	厚生委員会費		3,327,000	3,367,000		40,000		
		7	学校歯科委員会費		1,837,000	1,814,000	23,000			
		8	各種委員会費		883,000	1,187,000		304,000		医道委員会旅費・臨時委員会
2			医政費		2,270,000	2,000,000	270,000			
3			地域歯科保健活動支出		10,461,800	11,301,000		839,200		
	1		衛生週間事業費		3,200,000	3,200,000				
	2		地域活動費		7,261,800	8,101,000		839,200		就学時健診・休日診療・介護予防事業他
4			会議費		2,983,000	2,997,000		14,000		理事会・代議員会・対外会議費 他
5			支部分担金		1,107,000	1,113,000		6,000		会員1人3,000円
6			健診事業支出		1,160,000	1,190,000		30,000		
	1		健診料		1,160,000	1,190,000		30,000		妊婦歯科健診・企業健診料
7			補助金等支出		300,000	300,000				
	1		県歯科衛生士会補助金		100,000	100,000				
	2		県歯熊本市支部補助金		100,000	100,000				
	3		市歯科技工士会補助金		100,000	100,000				

款 項 目	科 目	予算額	前年度予算額	増	減	備 考
2	管理費支出	22,945,400	24,077,200		1,131,800	
1	渉外費	1,410,000	1,450,000		40,000	香典代・御樽代等
2	役員報酬	5,443,200	5,443,200			役員15名分
3	職員給料	5,158,000	5,104,000	54,000		職員 3 名分
4	職員諸手当	2,718,000	2,700,000	18,000		職員 2 名分
5	厚生費	1,615,200	1,400,000	215,200		事業主保険料等
6	旅費	800,000	1,305,000		505,000	交通費
7	需要費	2,400,000	2,760,000		360,000	郵送費、TEL・FAX料 他
8	事務所費	520,000	420,000	100,000		水道光熱費 共益費等
9	備品費	300,000	150,000	150,000		
10	委託費	1,136,000	1,900,000		764,000	税理士顧問料 コンピュータ管理費
11	使用料及び賃借料	200,000	200,000			コンピュータリース料
12	租税公課	30,000	30,000			消費税
13	雑費	1,215,000	1,215,000			封筒印刷 議事録作成費 他
3	他会計への繰入金支出	2,900,000	2,900,000			
1	退職積立金支出	900,000	900,000			
1	役員退職金支出	540,000	540,000			
2	職員退職金支出	360,000	360,000			
2	基本財産繰入金支出	2,000,000	2,000,000			
4	法人税等支出	200,000	200,000			法人税・事業税等
事業活動支出合計（B）		59,609,200	61,480,200		1,871,000	
事業活動収支差額（C）A－B		－11,340,640	－12,506,200	1,165,560		
Ⅱ 投資活動収支の部						
i. 投資活動収入						
1	固定資産売却収入	350,000				
投資活動収入合計（D）		350,000	0	350,000		
ii. 投資活動支出						
1	固定資産取得支出	300,000		300,000		
投資活動支出合計（E）		300,000	0	300,000		
投資活動収支差額（F）D－E		50,000	0	50,000		
Ⅲ 財務活動収支の部						
i. 財務活動収入						
1	借入金収入	1,000	1,000			
財務活動収入合計（G）		1,000	1,000			
ii. 財務活動支出						
1	借入金返済支出	1,000	1,000			
財務活動支出合計（H）		1,000	1,000			
財務活動収支差額（I）G－H		0	0			
Ⅳ 予備費支出（J）		3,709,360	2,493,800	1,215,560		
当期収支差額（K）C＋F＋I－J		－15,000,000	－15,000,000			
前期繰越収支差額（L）		15,000,000	15,000,000			
次期繰越収支差額（M）K＋L		0	0			

第3号議案

平成23年度熊本市歯科医師会収益事業会計予算

款	項	目	科	目	予算額	前年度予算額	増	減	備	考
I 収入の部										
1				事業収入	75,000	75,000				
	1			入院入所者事業収入	20,000	20,000				
		1		機械使用料収入	20,000	20,000				入院者機械代
	2			会議室料収入	55,000	55,000				会議室使用料
2				雑収入	5,000	5,000				ガイドブック印税・その他
収入合計 (A)					80,000	80,000				
II 支出の部										
1				事業費支出	30,000	30,000				
	1			入院入所者事業支出	10,000	10,000				
		1		補修管理費支出	10,000	10,000				
	2			水道光熱費支出	20,000	20,000				
2				管理費支出	21,000	21,000				
	1			寄附金支出	10,000	10,000				
	2			租税公課支出	1,000	1,000				
	3			雑支出	10,000	10,000				
3				法人税等支出	29,000	29,000				法人税・事業税等
支出合計 (B)					80,000	80,000				
当期収支差額 (C) A - B					0	0				
前期繰越収支差額 (D)					20,000	28,732		8,732		
次期繰越収支差額 (E) C + D					20,000	28,732		8,732		

第4号議案

平成23年度熊本市歯科医師会役職員退職積立金会計予算

款	項	目	科	目	予算額	前年度予算額	増	減	備	考
I 収入の部										
1				他計会計からの繰入金収入	900,000	900,000				
	1			役員退職積立金収入	540,000	540,000				
	2			職員退職積立金収入	360,000	360,000				
2				補助金等収入	2,000	2,000				
	1			中退共掛金助成金収入	2,000	2,000				
3				雑収入	5,000	5,000				
	1			預金利子収入	5,000	5,000				
収入合計 (A)					907,000	907,000				
II 支出の部										
1				管理費支出	707,280	1,787,280		1,080,000		
	1			退職金支出	0	1,080,000		1,080,000		
		1		役員退職金支出	0	1,080,000		1,080,000		
		2		職員退職金支出	0	0				
	2			職員退職金掛金支出	707,280	707,280				2名分
支出合計 (B)					707,280	1,787,280		1,080,000		
当期収支差額 (C) A - B					199,720	-880,280	1,080,000			
当期役員積立金収支差額					540,000	-540,000	1,080,000			
当期職員積立金収支差額					-340,280	-340,280				
前期繰越収支差額 (D)					1,654,882	2,535,162		880,280		
前期役員積立金収支差額					45,000	585,000		540,000		
前期職員積立金収支差額					1,609,882	1,950,162		340,280		
次期繰越収支差額 (E) C + D					1,854,602	1,654,882	199,720			
次期役員積立金収支差額					585,000	45,000	540,000			
次期職員積立金収支差額					1,269,602	1,609,882		340,280		

第5号議案

平成23年度熊本市歯科医師弔慰金制度会計予算

款 項 目	科 目	予算額	前年度予算額	増	減	備 考
I 収入の部						
1	負担金収入	3,078,000	3,240,000		162,000	その都度1,500円
2	雑収入	2,000	10,000		8,000	
1	預金利子収入	1,000	5,000		4,000	
2	雑収入	1,000	5,000		4,000	
収入合計 (A)		3,080,000	3,250,000		170,000	
II 支出の部						
1	事業費支出	3,078,000	3,200,000		122,000	
1	給付金支出	2,920,500	3,000,000		79,500	
1	弔慰金支出	2,407,500	2,500,000		92,500	会員5名分
2	見舞給付金支出	513,000	500,000	13,000		会員1名分
2	供花費支出	157,500	200,000		42,500	生花代
2	管理費支出	2,000	20,000		18,000	
1	通信費支出	1,000	10,000		9,000	
2	雑支出	1,000	10,000		9,000	
3	予備費	0	30,000		30,000	
支出合計 (B)		3,080,000	3,250,000		170,000	
当期収支差額 (C) A-B		0	0			
前期繰越収支差額 (D)		0	33,000,000		33,000,000	
次期繰越収支差額 (E) C+D		0	33,000,000		33,000,000	

第6号議案

平成23年度熊本市歯科医師会会費及び負担金の賦課徴収方法について

科 目		年賦課額・賦課率	賦課方法	徴 収 方 法
会費	均等割（一般）	54,000	12回	毎月（各4,500円）
	（終身）	4,000	4回	4、5、6、7月（各1,000円）
	（親子）	18,000	12回	毎月（各1,500円）
	（特別勤務）	18,000	12回	毎月（各1,500円）
	（特別）	70,000	1回	4月、入会時
	（勤務）	12,000	1回	4月 ※入会が1年に満たない場合 その月を含む年度の残りの月数×1,000円
	矯正単科会員、自費診療のみの一般会員	82,000	10回	4～1月（各8,200円）
	所得割	1／1000	12回	毎月（社保、国保診療報酬） ※新入会員は全体平均額
入会金	一般会員	1,500,000	1回	入会時
			分割	初回金 300,000円 翌月より 100,000円（12回）分割
	親子会員	1,000,000	1回	入会時
			分割	初回金 40,000円 翌月より 30,000円（32回）分割
	特別勤務会員	1,500,000	1回	入会時
			分割	初回金 300,000円 翌月より 100,000円（12回）分割
	特別会員	1,500,000	1回	入会時
弔慰金	一般、親子、終身、特別勤務	1,500	死亡された月	本会会員が死亡された都度

編集後記

今期もよろしくお願いいたします。大震災の後始末が大変な折ですが、自分のできることを一生懸命やろうと思う今日この頃です。中岳も幅広く会員の皆様の趣味や感動したことなどを掲載したいと思っています。投稿をお待ちしております。
(Y. T)

またまた広報委員として2年間お世話になります。手書き原稿を受け付けていただいて感謝いたしております。今春、家から子供が巣立った形で、愚妻とふたりきりとなりました。お近くへお越しの際は是非おたちより下さい……。
(K. M)

広報委員会に入り、あっという間に4期目に突入してしまいました。いつのまにか8年の月日がたっており、未だに他先生のご助力が無いと仕事が進みません。こんな私ですが楽しく委員会の仕事をやっています。未熟者ですが今期もよろしくお願い致します。
(Y. O)

広報委員会も今期で3期目となりました。まだまだ力不足ですが少しでも会員の先生方の役に立つ情報を発信して行きたいと思います。
(M. A)

1期目は要領も分からず編集や文書作成はなかなか苦労しました。ただ、田中理事の大変さを考えると頭が下がります。2期目はもう少し貢献できるように頑張りたいと思います。
(S. I)

今回は、2期目の広報委員会となります。今期も広報の仕事に携わり少しはお役にたてれば幸いだと思っています。
(N. H)

今年度から新加入させて頂きました。

まだ右も左も分かりませんが、微力ながら広報委員のメンバーならびに会員の先生方の役に立てよう頑張ります。
(M. T)

熊本市歯科医師会誌

第 153 号

発行日 平成23年6月15日発行
発行所 社団法人熊本市歯科医師会
熊本市坪井2丁目4番15号
<http://www2s.biglobe.ne.jp/~kdc8020/>
[mail:kda8020@msg.biglobe.ne.jp](mailto:kda8020@msg.biglobe.ne.jp)
TEL (343) 6669
FAX (344) 9778

発行
責任者 清 村 正 弥

印刷所 コロニー印刷
熊本市二本木3丁目12-37
TEL 096-353-1291 FAX 096-353-1294